

商学部

SCHOOL OF COMMERCE

「個」を強くする大学。

MEIJI
UNIVERSITY

“Self-direction” make the world go round.



商学部長
中林真理子 (なかばやし まりこ)

1993年明治大学商学部卒業。1995年明治大学大学院商学研究科博士前期課程修了、2002年同博士後期課程修了。博士(商学)。1998年明治大学商学部専任助手。専任講師、助教授を経て2007年より教授。専門は保険、リスクマネジメント。研究テーマは「企業のリスクとしての倫理的課題についての考察」。主な著書に『リスクマネジメントと企業倫理—パーソナルハザードをめぐって』、『自動運転と社会変革—法と保険』(共著)など

学部長メッセージ

多様な学びを通じて、 不確実な時代に確かな思考力を身につけましょう

明治大学商学部は1904年に日本の私立大学初の商科として創設されてから120年近くの伝統を重ねてきました。この間の一貫した教育理念は「学理実際兼ね通ずる人材の育成」で、学生の主体的な学びの姿勢を促進する仕組みを確立してきました。まず特色として挙げられるのが1学科7コース制です。大学入学時にはテーマを絞らず、1・2年次に基礎をしっかりと学んだあと、3年次のコース選択で深く研究したいテーマを決めることができます。自分に必要な学問を選べる自由度の高いコース制で、学問の垣根はなく、選択したコース以外の科目も履修することができます。商学部では商学を「総合的市場科学」と捉えており、マーケティング、金融、会計、経済、経営など幅広い分野の学問を学ぶことができます。

また学生の主体性を尊重する商学部では、さまざまな場面でアクティブラーニングを採り入れています。1年次の春学期から実際の企業の課題に取り組むことができる「ビジネス・インサイト」や、地域や企業と連携して社会を学べる「特別テーマ実践科目」といった授業を選択できます。2年次からはじまるゼミナールでも、幅広い教養を身につけた人材を育成するため「ダブル・コア」を

取り入れています。これは商学の専門知識を学べる「商学専門演習」と、一般的な教養を深める「総合学際演習」の2つのゼミナールを同時に履修できる制度で、学生のより主体的な学びを可能にします。1,000人もの学生がいる中で、少人数教育がしっかりと行われていることも商学部の特色のひとつで、ゼミナールだけでなく、少人数の授業形態はいくつもあります。授業ごとに異なる集団の中で学び、多様なバックグラウンドの学生と出会い、時には議論を交わし、とても濃い学びができる学部なのです。

さらに、商学部では2023年度よりカリキュラムが変更され、より授業選択の自由度を高め、留学などの挑戦がしやすくなりました。

皆さんは大学で何がしたいですか。自分がしたいことと明治大学商学部でできることを、まずはよく知ってください。そしてここにいる学生が何を考え、どのように学んでいるのか関心をもってください。漠然と商学部に入りたいと考えている人、資格取得といった具体的な目標を持っている人など志望動機はさまざまだと思います。どのようなタイプの人も、本学部にある多様な教育プログラムをしっかりと理解して、存分に活用してください。

動画と記事で学部を知る
「Step into Meiji University」も
ぜひご覧ください



CONTENTS

学部長メッセージ	01
商学部概要	03
商学部の特色～個を育てる商学部の学び～	
①2つのゼミを同時履修できる「ダブル・コア」	05
②「自主・自立型実践教育」	07
③学生のチャレンジを促す科目	09
基礎教育・総合教育	11

多言語4年間一貫教育	13
カリキュラムの特長	15
コース紹介	
■アプライド・エコノミクスコース	17
■マーケティングコース	19
■ファイナンス&インシュアランスコース	21
■グローバル・ビジネスコース	23

■マネジメントコース	25
■アカウンティングコース	27
■クリエイティブ・ビジネスコース	29
国際交流	
商学部独自の留学支援	31
フレンチファッション・プログラム	33

卒業後の進路	
大学院商学研究科	34
資格に強い商学部	35
就職実績	36
入試情報	37

※登場する人物の在籍年次や役職等は、取材時点のものです。
2023年以前撮影の写真も掲載しています。

商学部で学ぶということ—— 「総合的市場科学」

ビジネスの世界を総合的に研究する

明治大学商学部は1904(明治37)年に日本初の私立大学の商科として誕生し、「明治の商科」として1世紀以上の伝統を誇っています。以来、学制の改革と時代の移り変わりの中で、商学部は着実に発展・充実してきました。現在、その伝統を継承しつつも、国際化・情報化時代の新たな要請に応える実学としての「商学」の発展を担い、社会経済環境の急速な変化に主体的に対応できる次世代のリーダーの育成を目指しています。

大学にはビジネス系の学部がいくつかありますが、商学部もそのひとつです。「商」の文字がついているため、商人や商取引などを学ぶ学部と考えている方もいるかもしれませんが、商学部では、ビジネスの世界を様々な角度から総合的に研究します。その中には経済、経営、流通、そして金融も含まれてきます。明治大学では、このような商学部で学ぶ内容を「総合的市場科学」と呼んでいます。

■ 商学部の7つのコース



少人数教育で広い視野と創造性を養成

商学部では、伝統的に少人数教育を重視しています。1年次の「基礎演習」「文章表現」では、レポート作成やディベート、フィールドワークなど、大学での学問研究に不可欠な技術を身につけることができます。そして、2年次からは「商学専門演習」と「総合学際演習」から各1演習、2系統のゼミを履修することが可能となります。これからのビジネスパーソンは、高度で専門的な知識だけでは十分とはいえません。より広い視野をもち、創造性を発揮することが要求される時代になっています。この創造力は、専門性だけではなく、広く深い教養によって高めていくことができます。2系統のゼミで商学の専門知識と高度な教養を身につけることで、それらが学生の内面で『融合』し、新しい価値観や世界観、総合的な判断力につながっていくはずで

POINT 経済学、経営学、商学の違いとは？

経済学が、経済現象を理論的に解明することを目的とするのに対し、経営学や商学は、経済活動、社会的・制度的現象の学際的な分析を目的としています。また、経営学と商学の相違点は、経営学が企業、行政組織、NPO・NGOなど様々な組織の運営や管理について学ぶことを目的とするのに対し、商学は流通、交通、貿易、金融、保険、会計など、経済的事業体による商業行為の実態とその理論について学ぶことを目的としています。

明治大学商学部の強み

● **ビジネスの
プロフェッショナルを育成する** ●

Point 1 自由度の高い7つのコース制

1・2年次は基礎・総合教育科目を学び、3年次より7つの専門コースから自分の希望のコースを選択。3年次以降は自分が選択したコース科目を重点的に履修しますが、同時にほかのコース科目も履修可能で、それらを単位修得することもできます。自由度が高く、幅広く学べます。

▶詳細はP.17~30

Point 2 2つのゼミを同時に学ぶ 演習教育の「ダブル・コア」

少人数制で学ぶ演習(ゼミナール)では、商学専門演習に加えて、基礎総合系の総合学際演習を併置し、2つの演習を同時に履修することができます。2つの異なる分野を深く学習することにより、より広い視野で教養のある『知の2つのコア』を融合させます。

▶詳細はP.05~06

Point 3 地域や企業と連携した 「自主・自立型実践教育」

社会貢献ができる能動的な人材の育成プログラム、地域・産学連携による「自主・自立型実践教育」では、実社会に見られる課題について、分析・改善案の企画・報告といった一連のプロセスを経験。様々な地域や企業との連携をベースに、学生主導の社会連携活動を展開します。

▶詳細はP.07~08

Point 4 実践的な語学力を養成する 多言語4年間一貫教育

4年間にわたる段階的なカリキュラムにより、教養に裏打ちされた実践的な語学力を養成。TOEIC®やTOEFL®の団体受験や海外留学支援、3・4年次の「発展外国語」開講など、語学教育に注力しています。

▶詳細はP.13~14

個を育てる商学部の学び①

Seminar Report

幅広い、深い教養を備えた職業人を育成 2つのゼミを同時履修できる「ダブル・コア」

ダブル・コア

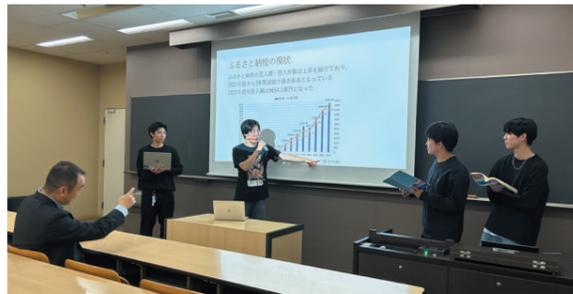
明治大学商学部では、2年次から演習教育（ゼミナール）がスタート。商学の専門知識を学ぶ「商学専門演習」と、深い教養を学ぶ「総合学際演習」の2つのゼミを同時に履修できます。

商学専門演習
「企業と保険、中小企業金融、金融教育」

身近だけど、一見すると難しく感じる
保険や金融を楽しく学ぶ

浅井ゼミでは、3年次の後半に、学内、もしくは学外の発表大会で研究発表することを目標に、2年次の後半から1年弱かけて研究発表の準備をします。プレゼンテーションをすることが初めてだという人が多いので、ゼミ生の皆さんは「パワーポイントを作ること」、「話すこと」に心を奪われがちなのですが、実は、「他の人が話しているのを聞く態度（よい聞き手である）」や「プレゼンテーションの内容を説得的な文章（多くの人が共感できるもの）にしていくこと」も重要であることを学んでいます（1枚目）。

また、教員が中小企業の保険やリスクマネジメントに関心があるため、中小企業に分類される規模の企業の工場見学へ行くこともあります。2022年度は新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が大きな問題だったので、希望者のみ、感染拡大に気をつけながら、工場見学を再開しました（2枚目）。その他、ゼミ生の希望に応じて、懇親会やゼミ合宿を行う年もあります。



普段のゼミの様子です。



工場見学の様子です。

STUDENT VOICE



ファイナンス&
インシュアランスコース
3年
都築 幸大
埼玉県立
春日部高等学校卒業

2つのゼミの学びを通じて身につけた
多角的な視点を強みに活躍したい

私は2つのゼミに所属しています。1つは保険リスクマネジメントについて学ぶゼミ。2年次では保険の基礎を学びながらプレゼンテーションを実施し、3年次ではグループごとにテーマを設定し、データ分析を行っています。SPSSやExcelなどの統計解析ソフトを使用するため、最初は難しく感じますが、分析を進めるうちに面白さが分かってきました。もう1つは、西洋美術史のゼミ。教科書の内容や指定された作品・年代について

学習し、発表を行っています。実際に美術館を訪れて行う課題や作品を作る課題を課されることもあります。資料作成が上手い人が多く、刺激を受けます。2つのゼミを履修し、専門知識と教養の両方が身につく、視野が広がりました。また、プレゼン経験と専門知識という軸が就職活動で大いに役立っています。将来は金融業界で働き、高い専門性と多角的な視点を強みに幅広く活躍したいです。

分野の異なる2つのゼミで同時に学ぶ「ダブル・コア」(履修例)



商学専門演習「企業と保険、中小企業金融、金融教育」

MESSAGE

浅井 義裕 教授

明治大学商学部は、私立大学の商学部の中で最も歴史があります。企業に講演などに行くと、年配の方に「商科の明治ですね」と言われることがあり、驚くことがあります。また、講演後の立食パーティーで、「私、明治大学の出身です」と声をかけていただくこともあります。商学部の研究・教育水準は年々高くなってきていると自負していますが、大学の教育水準だけではなく、伝統があり卒業生による校友会の活動が盛んなのも本学・本学部の魅力だと思います。

PROFILE

明治大学商学部専任教授。2000年名古屋大学経済学部経済学科卒業、2006年名古屋大学大学院経済学研究科博士後期課程修了。博士（経済学）。城西大学現代政策学部助手、助教、明治大学商学部専任講師、准教授を経て現職。

総合学際演習「西洋美術史」

MESSAGE

瀧口 美香 准教授

本学商学部には、「西洋美術史」のゼミがあります。「え？商学部でアートを学ぶの？」と思われるかもしれません。商学部は「世界で活躍できるビジネスパーソンを育成する」という目標を掲げており、ビジネスとアートは全く別のもののように見えますから。しかし近年、ビジネスパーソンがアートを学ぶ必要性について、多く論じられるようになりました。アーティストの自由な発想力や創造力が、ビジネスの分野で活躍する上で、多くのヒントを与えてくれるからです。ぜひとも商学部で、自らの関心に沿って学びを深めてください！

PROFILE

ロンドン大学コートールド研究所でPhDを取得。専門はビザンティン美術史、キリスト教図像学。主な著書に『ビザンティン四福音書写本挿絵の研究』（創元社2012年）、『キリスト教美術史—東方正教会とカトリックの二大潮流』（中公新書2022年）がある。



TOPICS

商学部ゼミナール協議会

予想外の問題にも対応できる力が養われました

商学部ゼミナール協議会は、商学部のゼミの活性化を目的に活動しています。ゼミ同士の交流を促進する「ゼミ対抗スポーツ大会」を約4年ぶりに開催したり、1年生向けにゼミ情報を発信するイベントを対面で実施したりしました。活動の中で、課題に対して適切な解決策を考える力が身についたと感じます。活動の全体像と詳

細を的確に把握しておくことで、予想外の問題にも対応できました。社会に出てからもこの力を活かし、どんな事態にも論理的に対応したいと考えています。

アカウンティングコース3年
橋本 隆之介
東京都私立明治大学付属明治高等学校卒業

商学部生の有志でつくる大学公認の学生団体。学部のゼミナール間やゼミ生同士の交流を促し、学部全体の活性化を図ることを目的として、イベントの企画・広報・運営を中心に活動しています。



※本人、後列右から3番目

地域・産学連携による 「自主・自立型実践教育」

特別テーマ実践科目

大学では、「人から学ぶ」というこれまでの受け身の姿勢ではなく、自ら積極的に試行を重ね発見する能動的な姿勢が求められます。明治大学商学部は実践的でハイレベルな講義を通し、能動的で即戦力となる人材を育成します。

地域商店街との 相互コミュニケーションの促進

店舗経営の基礎を主体的に学び 地域の活性化を目指す

本講義では、地元商店街と明大生との相互コミュニケーションの促進を目的とし、実際の店舗経営の基礎を学び、実践します。具体的な学習内容は「和泉キャンパスでの出張店舗運営」と「学内情報誌の作成」です。

明大前駅近くの商店街は、かつては明大生があふれる賑やかな場所でしたが、現在は店舗のあった場所にマンションが増え、学生とのつながりが希薄になっています。その状況を改善するべく始めたのが本講義で、受講生は店舗運営と冊子作成、ふたつの班に分かれ明大前駅の飲食店を明大生や職員の方々々に利用してもらう方法を模索します。その際に用いるのがマーケティングの基本、Product（製品・商品）、Price（価格）、Promotion（プロモーション）、Place（流通）、いわゆる4Pの手法です。闇雲に商品を売るのではなく、事前に商店街の店舗に赴き調査を行うことで、本当に売れる方法を考え

ます。店舗経営に必要な営業力、会計知識、企画力などを多角的に短期間で養うため容易な道のりではありませんが、その分やりがいのあるプログラムです。

入念な下準備のち、店舗運営班は和泉キャンパス内での屋台の出店を行います。店舗のレイアウトや会計、販売方法の精査と課題は山積み。一つひとつ、失敗を繰り返し、過去の先輩方に学びながら良い店舗とは何なのかを試行錯誤します。最初は声を出して売ることすらできなかった学生たちも、段々とコツを掴み、自分たちで創意工夫を凝らしてオリジナルの店舗をつくっていくのです。たとえば、忙しくてお昼時に買い物に來られない職員の方にも商品を守るために考えたのは、デリバリー・予約表システム。色々なアイデアを考えるのが好きな学生には最適な講義だといえます。冊子作成班は構成やレイアウトを一から思考し、キャンパスで配布する店舗のクーポンマガジンを作成します。店舗への取材や印刷会社との交渉など、社会人になっても役立つコミュニケーション能力が大いに養われます。たくさんの方々とお話を重ねることで、自らの知見も飛躍的に広がるでしょう。

どちらの班になっても必ず求められるのが主体的に考える姿勢。高校生のみならず、人に教わるという受動的な段階から、自分で考えて動くという能動的な段階にステップアップを目指していただきたいと思っています。ぜひ本講義に挑戦して、自分の力を試してみてください。



MESSAGE **若林 幸男 教授**

大学生と地元の方が疎遠になってきた状況の中、かつてのように仲良しの隣人としての関係に戻すためには、どのようにしたらよいか。私が展開している「地域商店街との相互コミュニケーションの促進」は、こうした問いに対して、学生が考えた様々な工夫を「実践する」科目です。地元商店街のお店の物産を和泉キャンパスの中で販売することや、地元商店街の色々なお店の情報を情報誌として印刷、配布しています。マーケティングを楽しんで、実践していきましょう。

PROFILE

明治大学大学院商学研究科修了。明治大学商学部助教授を経て2005年より同教授。主な研究テーマは、総合会社における人的資源の構築。著書に『三井物産人事政策史』（ミネルヴァ書房）、『学歴と格差の経営史』（日本経済評論社）。明大前商店街と明大生の結びつきを強め、隣人として生活をエンジョイする活動を継続中。

STUDENT VOICE

多くの人と関わりながら活動を進める中で 伝える力と柔軟性が磨かれました

2年
越智 彩葉
神奈川県立
湘南高等学校卒業



明大前商店街の活性化や地域との交流を深めることを目的に、明大前駅周辺の店舗の商品の代行販売を行いました。依頼する店舗や商品の価格、売り上げを伸ばすための工夫まで、学生主体で話し合いながら、店舗係・チラシポップ係等のチームに分かれて準備を進めます。活動には学部事務室や店舗の方など多くの人に関わるため、意見の伝え方や手段などを工夫しました。それにより、

様々な人に対して、的確に自分の意見を伝える力が鍛えられたと感じます。また、天候や状況に応じて販売を行ったり、備品や人手の不足にも対応したことで、臨機応変に対処できる柔軟性も得られました。これらの力は将来、仕事を円滑に進めるために重要になると思います。マーケティングの学びを机上に留めず、実践的に深めることができた経験を今後役に立てていきたいです。



販売の様子



商品をPRする看板



代行販売のチラシと情報誌

■ 2024年度特別テーマ実践科目一覧

すべての学年で履修が可能です。外部の専門家などが実践的な学びをバックアップします。

- ムスリム共生プロジェクトⅠ・Ⅱ
- ファッションから考える〜定点観測>の理論と実践Ⅰ：下北・吉祥寺のファッションから考える
- SDGs調理科学
- 大災害時代の復興未来学
- グローバルキャリアデザイン
- 地球に優しい科学を目指す
- 地元商店街との相互コミュニケーションの促進
- ファッションから考える〜定点観測>の理論と実践Ⅱ：渋谷のファッションから考える
- 変革するビジネス
- ニューノーマル下のビジネス
- フィールドワーク調査法
- 転換期のビジネス
- データで読み解く良い企業
- 広報活動によるブランディングと取材の基本
- 都市文化とファッションの関係Ⅰ・Ⅱ
- 地域における新規事業提案・基礎編/応用編
- コンサルティング実践(課題抽出フェーズ・戦略立案フェーズ)
- 地方の魅力をどう伝えるか：小鹿野町の地域実践編：キャンパ企画を通じた協働の試み
- 地域活性化の取り組みに関する社会調査法

■ 2024年度特別テーマ研究科目一覧

専任教員を中心とした研究グループが行っている大学院レベルの研究成果を、学部生にわかりやすく解説する科目です。

- イスラーム概論：教養としてのイスラームの文化・社会・歴史Ⅰ・Ⅱ
- 《シネマ・リテラシー》を学ぶ
- 社会調査法
- ファッション文化論～東京ファッションスタディーズⅠ・Ⅱ
- ラテンアメリカ地域概論Ⅰ・Ⅱ
- 海外ラグジュアリーブランドの広報活動
- 科学的リテラシー：放射線編/電磁波編
- 災害と情報科学：災害を理解する/災害と対峙する
- 犯罪を生じる場所とその対策：司法・犯罪心理学を語る
- Fundamentals of Accounting
- 歴史と文化から学ぶスペイン語Ⅰ・Ⅱ
- 中東国際政治概論：パレスチナ問題と現代社会
- 心理学による自己分析：心理尺度で自己を測定して客観的に自分自身をとらえる
- 実践アラビア語コミュニケーション論

学生のチャレンジを促す科目

ビジネス・インサイト

「ビジネス・インサイト」は、1年の春学期において、企業からの課題にチャレンジし、その後、積極的に学習することを促す科目です。

大学での学びのモチベーション・原動力になる講座！！

「スマホアプリの新機能・サービスを開発してください」というテーマが企業から出されたら、どのような案を皆さんは考えますか？実はこの講座で過去に出されたテーマです。このように企業から出されたテーマに対し、チームごとに自分たちで解決策を立案し、企業の方々にそれらを提案するのが「ビジネス・インサイト」です。さながら企業の企画会議のようなビジネス体験をし、このような経験を通じて実践的な学習をします。

先生が一方向的に理論を解説し、学生に知識を授けるだけの講座ではありません。テーマの解決のために、自分たちでアンケート調査やヒアリングなどフィールドワークをしたり、図書館に通いデータの収集

をしたり、チームで解決策を出し合い、ときには熱い議論を戦わせます。テーマの解決のために必要だと思うことを、自らが能動的に考え、自らが主体的に行動し、自分たちで解決策をアウトプットする講座です。

そして、その解決策に対して様々な質問が企業の方々から投げかけられます。この質疑応答を通じて、自分たちの解決策に何が足りないのかを指摘され、気付くのです。商品を販売したり、サービスを提供したりするには、消費者心理の把握や市場調査の必要性、自社の製品開発力や事業戦略の強み・弱みの分析など、多面的な領域から考察する必要があります。そしてその必要性が「今の自分たちに足りないもの」＝「これから学んでいくべき要素」、つまり、「これから何を学べばよいのか？」を知る転機になり、これから始まる大学生活の学びのモチベーション・原動力になります。これが「ビジネス・インサイト」の狙いです。



MESSAGE **中山 千尋** 特任講師

「ビジネス・インサイト」では、グループで企業の実際のビジネス課題解決に取り組めます。グループで議論を重ね、ビジネス課題の解決策を企業に提案し、企業からフィードバックを受ける課題解決型のアクティブラーニングです。主体的に考え、行動し、体験したことから学んでいきます。この講座を通じて、自分の視野を広げてみませんか？皆さんの柔軟な発想で、ぜひ企業に解決策を提案してみてください！

PROFILE

研究テーマは、観光マーケティング、グローバルビジネス、キャリア教育、グローバル人材育成など。
担当講座：ビジネス・インサイト、特別テーマ実践科目、Essentials of Commerce

STUDENT VOICE

1年
林 鈴菜
静岡県立
沼津商業高等学校卒業



当事者の目線に立ってアイデアを出すことでより良い解決策が導き出されました

鉄道会社から課題として提示された「多摩エリアのまちを『誰かに自慢したくなるまち』にするためのアイデア」をグループで考案しました。最初は意見がぶつかり、話し合いが難航したことが印象に残っています。議論するうちに自慢できることの捉え方が各々異なると分かり、その定義から問い直しました。アイ

デアを出す上で、特に重要だったのは当事者の目線に立つこと。この視点を意識することで、実現可能性が高く、より良い解決策が導き出せたと感じます。また、社会人の方の前での発表という貴重な経験ができ、マナーも身につけられました。この講座での学びを大学生活や、就職後に活かしていきたいです。

PICK UP 注目授業

ビジネス・インサイト 「りそな銀行」の協力で実施される講義

松尾 隆策 特任准教授

本講義は、ビジネスの最前線で活躍される企業の方々のご協力のもと、実際のビジネス現場で直面するような問題に取り組むPBL (Project Based Learning) 型の実践授業です。私の担当講義の1つは、「りそな銀行」の方々のご協力で実施されます。企業より課される実践的なテーマに対して、5～6名が1組のグループに分かれて主体的に取り組む、リサーチとディスカッションを重ねて解決策を提案するというアクティブラーニング形式で実施されます。グループごとに、課題に対する提案をパワーポイントにとりまとめ、企業の方々の前で中間・最終発表と2回にわたってプレゼンテーションを行います。半年間のグループワークで1つの成果物を生み出すという本講義では、グループのチームワークが非常に重要で、高いコ

ミュニケーション能力とプレゼンテーション能力が養われます。クラスで最も優秀なプレゼンテーションを行なったグループは、毎年、クラス代表として「明治大学商学部 学生対抗プレゼンテーション大会」に出場し、その成果を広く報告することになっています。本大会では、明治大学OBで構成される「連合駿台会」により、優秀賞と敢闘賞が選ばれますが、2023年度には、この授業のグループが敢闘賞を受賞することができ、学生にとって大きな励みとなりました。このように、ビジネスインサイト講座は、ビジネスの現場を疑似体験することで、将来のキャリア選択のきっかけを掴むことができ、大学4年間で目指すべき自らの方向性を見つけ、より有意義なキャンパスライフを送れるために非常に有効な授業です。



最終発表でのプレゼンテーションの様子



最終発表に対する企業の方々からの講評の様子

PICK UP 注目授業

ビジネス・インサイト 企業の課題に取り組み、課題解決力を養う実践授業！

斎藤 美和子 兼任講師

ビジネス・インサイトは企業が実際に抱える課題をグループワークで解決していく授業です。

この授業には2つの特徴があります。1つ目は【企業の人と直接関わる】ことです。実際に企業の方に授業にお越しいただき、各社の特徴や歴史・ビジネス環境についてお聞きしたうえで、課題に取り組めます。提示される課題はどれも一筋縄ではいきませんが、学生同士、知恵を絞り、足りない知識は調査・学習により身につけ、切磋琢磨して取り組んでいきます。中学生・高校生が取り組むアイデアコンテストとは異なり「利益を出すためにはどうしたらいいのか？」「この企業が取り組む意義はどこにあるのか？」といった観点を持つことを重視しています。

また同じグループのメンバーは同級生になります。過去履修した先輩たちも、順調にワークが進むグループもあれば、途中で意見がまとまらずにディスカッションを続けるグループもあります。【意見の異なる人と協働すること】これこそがビジネス・インサイトの2つ目の特徴になります。最終的にグループで1つの提案をするためには、話し合いが欠かせません。自分の意見を伝え周囲を巻き込む力も必要ですし、時に譲る場面もあります。課題を解決するために、「なにを優先すべきなのか？」を考えていきます。

4か月の履修期間を経て、学生の皆さんには実際のビジネスに触れること、そして仲間と学びあうことの面白さを実感してもらいたいと考えています。



授業風景



企業の方による講義の様子

教養を深め、専門教育の基盤をつくる

1・2年次は必修科目である基礎教育科目と外国語科目、保健体育科目を中心に構成されています。ほかにも基本科目や総合教育科目を学ぶことができます。

商学部の学びの形

基礎教育科目は、商学の専門知識と深い教養を兼ね備え、商学の最先端分野の理論的・実証的研究成果の修得のために設置。「基礎演習」「文章表現」「経済学」などから成り、初年次導入教育の役割を担っています。「初年次教育プログラム」で大学で学ぶための土台を築いたら、2年次からゼミナール教育がスタート。「商学専門演習」と「総合学際演習」を同時に履修できるダブル・コア制度があります。

基礎教育科目



大学生として学習・研究していくためには、まず土台づくりが必要です。1年次では、図書館での資料・文献収集、データの分析、論理的な文章の作成やプレゼンテーションといった「研究の作法」を少人数で学ぶ科目や、商学専門科目を学ぶ基礎としての経済学が用意されています。これらを通じ、4年間の「堅固な土台」を築きましょう。

総合教育科目



大学では「学部の専門科目：商学」とそのほかの「教養分野の科目」を学ぶことを大きな目的としています。教養分野の科目では、「人間の営みとそれを取り巻く環境」を対象として、「文化と芸術」、「地域と社会」、「人間と自然」を学びます。教養分野の知識を深め、大学時代にとどまらず、一生楽しむ「もうひとつの専門分野」をつくってください。

保健体育科目



スポーツ実習科目として、「体育・スポーツ実習」「選択スポーツ実習」「選択集中スポーツ実習」があります。人間の身体や機能について学ぶと同時に、試合のルールや団体活動を通じて個とグループという社会性を学ぶことが目的です。実技以外にも、スポーツとグローバル化や健康について考える講義科目も用意されています。

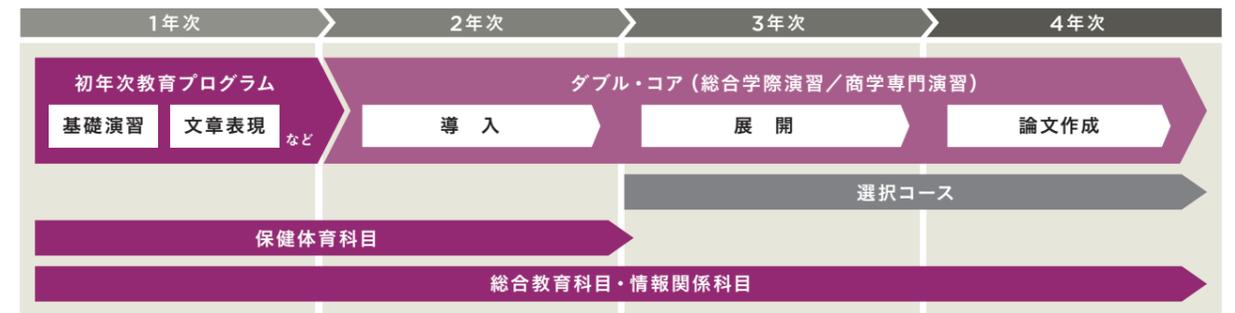
情報関係科目



すでにスマートフォンやインターネットには慣れ親しんでいるでしょう。大学に入学後は、様々な情報システムを活用できる力をつけましょう。データや文献を探し、レポートや論文を作成するなどのコンピュータの基礎から、アプリケーションやコンテンツの制作まで、体系的にコンピュータの活用方法を修得できます。

「初年次教育プログラム」と導入・展開・論文作成の3段階からなる「ゼミナール教育」

商学部のゼミナール教育は、2年次を導入、3年次を展開、そして4年次を論文作成の時期と位置づけます。2年次の商学専門演習は、3年次からのコース選択の助走期間としての意味も持っています。



STUDENT VOICE

多分野の学びによって、物事の背景を想像する力が培われました

マーケティングコース
4年
中野 なつみ
北海道富良野高等学校卒業



入学を考えたきっかけは、本学の商学部に通う先輩に「一般教養から専門的な知識まで幅広く学べるから、将来の道筋が決まっていなくても最適な学部だ」と助言をいただいたことです。実際に商学に関する授業以外にも西洋文化史や法学、心理学など、一般教養をさらに深掘りした内容を広く学べました。特に印象的だったのは「地理学」の講義。先生の体験をもとに講義が展開される点や、都市の形成・発展の過程と商学の深いつながりが見えた点が面白く感じました。また、総合学際演習では、地域スポーツの展望をテーマに研究。選手の考えや現場の現状を知ることができました。今後社会に出てからは、幅広い分野を学んだことにより培われた物事の背景を考える力を課題解決に役立てたいです。

[専任教員氏名および研究テーマ]

清水 克行 教授	日本文化史	室町～戦国時代の社会史の研究	浅賀 宏昭 教授	生命科学	バイオサイエンスに関する総合的研究
北田 葉子 教授	西洋文化史	イタリア中近世史	鴨井 祐二 准教授	線型数学	Gorenstein環の自由分解
石出 靖雄 教授	日本語表現論	日本語表現の研究	洞川 拓磨 特任教授	物理学	物理学に基づいた分野横断的研究
永井 善久 教授	日本近代文学	近現代日本文学・文化の研究	佐々木 美加 教授	心理学	社会心理学、アート関連コミュニティ
西山 春文 教授	日本近代文学	日本近代詩歌研究	森永 由紀 教授	環境科学	モンゴルのアイラグ(発酵馬乳)の研究
中村 成里 准教授	日本古典文学	歴史物語と和歌を中心とする日本古典文学	阿部 巧 准教授	体育・スポーツ実習	身体活動と健康
鳥居 高 教授	アジア史	東南アジア諸国の政治経済分析	桑森 真介 教授	体育・スポーツ実習	幼児と小・中学生の定期的運動と運動能力
中川 秀一 教授	地理学	国土周辺地域存続に関する経済地理学的研究	澤井 和彦 准教授	体育・スポーツ実習	スポーツマネジメント/スポーツ政策
清水 真木 教授	哲学	西洋哲学史	ハディ ハーニ 特任講師	特別テーマ実践科目	中東、特にパレスチナの民族主義や宗教

PICK UP

注目授業

環境問題の議論に加わろう

環境科学A・B

森永 由紀
教授



人類の将来を脅かしうる環境問題はすべての国が取り組むべき課題にみえますが、その対策には人々の認識の差から派生する「お国柄」があります。環境科学Aでは、幾つかの国の環境問題への取組の歴史をたどり、認識の違いを乗り越えて取り組みをすすめる道を探ります。環境科学Bでは、日本人が「叩かれやすい」捕鯨問題をはじめ、温暖化、エネルギー問題などに関する議論の練習をします。

農村空間の商品化と内発的発展

地理学A・B

中川 秀一
教授



近代化や資本主義システムの地球規模での貫徹が進行した前世紀は、「都市化」に象徴される社会変化が広範囲に進みました。しかし、時代は大きな転換期にあり、自然や生命を基盤とする生活や文化への回帰によるパラダイム転換が希求されています。様々な人々がともに生き幸福を実現できる社会に向けて、地球規模での環境、貧困、健康問題に対応可能な経済・社会の構想が求められています。私はそれを端的に「農村化」として捉え、地域間交流を通じた新しい内発的発展を展望する研究を進めています。

明大商学部は『多言語4年間一貫教育』

商学部の外国語教育の特徴は、2つの外国語を4年間にわたる段階的なカリキュラムによって学習できる点にあります。皆さんも、国際社会での活躍を目指して、商学部で優れた語学力をじっくり身につけませんか。

商学部の語学担当教員は、学生一人一人に目を配り、熱意を持って外国語教育を推進しています。教養に裏打ちされた実践的な語学力を4年間にわたって養成するのが、商学部の『多言語4年間一貫教育』です。まず基礎となるのは、1・2年次に必修科目において行われる『既習外国語(英語)』と『初習外国語(ドイツ語・フランス語・中国語・韓国語・スペイン語・ロシア語か

ら選択、留学生は日本語の選択も可)』の教育です。さらに、外国語学習に熱心に取り組む3・4年生のために、10~20名で学ぶ多彩な選択科目を用意しています。意欲のある人は、全学部の1~4年生を対象として開講されている『学部間共通外国語科目』(11言語)も加えて受講し、ネイティブの教員のもとでさらに会話力を磨きましょう。



[外国語科目の学びの形]



*ロシア語は1・2年次の必修科目のみ他学部で履修することができます。

既習外国語(英語)

1・2年次ともに「口語英語」と「英語講読」という2科目を履修します。学生の希望とTOEIC®の結果に応じて、よりレベルの高い「上級英語」に振り替えることも可能です。ほかにも、振替科目として「基礎英語」があり、各自の習熟度に合わせて学ぶことができます。3・4年次では、多彩なテーマの選択科目「発展英語」が開講され、15~20名の少人数制授業で英語力を確かなものにします。

初習外国語

1年次の初級では、週に2つの科目を履修し、基礎文法を学ぶと同時に、会話表現にも親しみ、コミュニケーション能力も養っていきます。2年次の中級では、週に2つの必修科目によって、テキスト講読、検定試験準備、コミュニケーション能力のアップなど、個々人の関心に応じて学習することも可能です。また初習外国語の勉強によりいっそう力を注ぎたい人は、1年秋学期と2年春・秋学期に《プラスワン》生として選択科目をプラスして履修することができます。2年間の学習で基礎を固めたあと、3年次に少人数の上級科目でさらに実践力を養うと、「継続は力」を実感します。もちろん各言語が使用される社会や文化にもますます精通していきます。さらに4年次の発展科目で、高度な語学力を身につけて、自信を持って社会へ羽ばたきましょう。

PICK UP 注目授業

言語の理解を通じて文化にふれる

既習外国語(英語)

中島 涉
教授



語学力の向上には、言葉そのものだけでなく、言葉の「向こう側」にある精神をつかむことも重要です。いくら英語が得意でも、伝える内容が伴わなければ、相手に話を聞いてもらうことは難しいでしょう。商学部の英語教育は、言語の理解を通じて内外の文化に触れ、自立した「個」にふさわしい教養を身につけることを目指しています。ぜひ、高い意識を持って学んでみてください。

それでも中国語を学ぶか

初習外国語(中国語)

三田 剛史
教授



スマホで簡単に翻訳ができる時代に外国語など学ぶ必要はない。スマホがあれば何でも即座に答えが得られ、授業を聴く必要もノートをとる必要もない。考えることをやめよ。コンピュータとネットワークを支配する集団のアルゴリズムに絡め取られることに不安も疑問もなければ、スマホの提供する知的環境は快適である。かの国に暮らすことと似ていないか。

CLASP

明治大学商学部独自の外国語アドヴァンスメント・プログラム!

CLASP (Commerce Language Advancement Studies Program) は、グローバル社会で活躍することのできる豊かな学識と、高い外国語能力を備えた、行動力あるビジネス・パーソンを育てるための外国語重点プログラムです。ビジネスの専門科目

を英語で学ぶための基礎を固めると同時に、海外の多様な文化・社会への理解を深め、将来の長期海外留学にも役立つ外国語能力を養うことを目的にしています。

(1)~(3)の科目・プログラムから必要単位をすべて修得すると2年次の終わりに修了証書を授与します。

1年次	2年次	
(1)	上級英語(必修科目)	6単位以上
(2)	和泉キャンパス開講の英語による講義科目	2単位以上
(3)	① 商学部開講「特別テーマ海外研修科目」(和泉開講)	左記の中から1つ以上に参加し、修了証または修得単位を提示
	② 学部間共通外国語 集中講座(夏期・春期)	
	③ グローバル人材育成プログラム	

修了証書を授与

商学部には初習外国語の《プラスワン》がある!

商学部のドイツ語・フランス語・中国語・韓国語には、それぞれ《プラスワン》という少人数クラスがあります。留学したり、将来仕事や学業で使ったりするために必要な語学力の強固な基礎を築くことを目標に、1年秋学期から2年終了までの1年半、必修科目にも1科目をプラスして3学期連続で学びます。初めて学ぶ外国語でも大丈夫! 語学好きの仲間とともに未知の世界を発見する旅に出ましょう。《プラスワン》を経て4年生まで実践的な語学力を養った卒業生はグローバルに活躍しています。さあ、後に続けてください!



STUDENT VOICE

商学部でドイツ語を学んだら、ドイツ人留学生の友達ができ!



2年
佐野 澄

千葉県立松戸国際高等学校卒業

印象に残っているのは《ドイツ語プラスワン》という少人数制の授業で、交換留学で商学部へ来たドイツ人学生とドイツ語で交流したことです。そのときに初めて、大学から学び始めた言語を実際に使えたのが嬉しかったです。このクラスには、やる気に満ちあふれた学生が多くいるので、楽しみながらドイツ語を学ぶことができます。また、分からないことがあればすぐに先生に質問でき、外国語学習に欠かせない「モチベーション」を容易に維持することができました。これからもドイツ語能力を養って、ドイツの映画や本、YouTube動画などのエンタメコンテンツを、字幕を介さずに楽しんだり、コミュニケーションの道具として活かしたりしたいです。

[専任教員氏名および研究テーマ]

英語教員	
石黒 太郎 教授	古英語とラテン語の語学的研究
海田 皓介 准教授	英語の歴史・ゲルマン語学
加藤 健太 専任講師	映画研究
小宮 彩加 教授	ヴィクトリア朝英国の社会と文化
今野 史昭 准教授	初期近代イギリス演劇
ジェームズ, アンドリュー S. 教授	現代イギリス文学、カナダ文学、アメリカ文学、短編小説論
瀧口 美香 准教授	フインの言葉、フインと観光
高橋 美和子 専任講師	西洋美術史
趙 泰昊 専任講師	初期近代イングランドの旅行記及び蒐集文化
中島 涉 教授	中世英文学における他者の表象
ルブレクト, ブライアン G. 教授	近世イギリスの文学と思想
	ゴールデンウィークと日本大学生
ドイツ語教員	
シックハウス, トビアス 准教授	近現代ドイツ文学
広沢 絵里子 教授	精神分析と自伝、日独・日欧文化接触
渡辺 徳美 教授	ドイツ戦後文学、ドイツ語圏の芸術史

フランス語教員	
浅間 哲平 専任講師	フランス小説の歴史
久松 健一 教授	外国語教育(教材分析を中心として)
松原 陽子 教授	フランスの近代文学、日仏文化
中国語教員	
石井 知章 教授	中国社会主義市場経済体制下の労働問題
水谷 尚子 准教授	近現代中国史、中国「少数民族」研究
三田 剛史 教授	20世紀中国経済思想史
韓国語教員	
李 英美 教授	韓日法制史、法の継受関係と影響関係の研究
スペイン語教員	
井関 睦美 教授	中米古代史、認知考古学、物質文化論
日本語教員	
黒崎 典子 准教授	日本語教育における口頭表現指導法

商学部HP内の「多言語4年間一貫教育」もぜひご覧ください
<https://www.meiji.ac.jp/shogaku/languages/mkmt0000001yloo.html>



商学部の4年間で学べること

商学部では、1・2年次の学習を基に、3年次より多彩なコースから自分の興味に合ったコースを選択できます。商学の専門知識と深い教養とを兼ね備えることで、商学の最先端分野の理論的・実証的研究の成果の修得を目指しています。また、伝統的にゼミナール教育（演習）を重視しており、4年間一貫して少人数教育を行っています。

[4年間の学びの流れ]



商学部の学びのポイント

Point 1 単位制について
大学においては、単位制が採用されています。単位制とは、科目の一つひとつの単位数が決められており、それを勘案しながら科目を修得していく制度です。これを積み重ねて126単位以上修得すると卒業資格が与えられます。

Point 2 半期履修制度 (セメスター制) について
教育課程の弾力的な運用を推進し、学生の学習効果を高めるため導入しています。具体的には、授業科目を半期で完結させ、試験、成績評価、成績発表を半期ごとに行う制度です。



Point 3 単位の修得方法について
各科目の単位を修得するためには、学生本人が学期のはじめに履修計画を立て履修登録を行い、その科目の授業に出席します。さらに成績評価のため行われる試験等に合格することが条件となります。



[カリキュラム体系図]

○印は必修科目 ▲印は選択必修科目

	1年次	2年次	3年次	4年次
基礎教育科目	○基礎演習、○文章表現、○経済学A・B			
総合教育科目	文化と芸術	日本文化史A・B、西洋文化史A・B、日本語表現論A・B、日本近代文学A・B、日本古典文学A・B、宗教学A・B		外国文学(西洋)A・B、外国文学(東洋)A・B、芸術(音楽)A・B、芸術(美術)A・B
	地域と社会	法学A・B、アジア史A・B、地理学A・B、社会学A・B、社会思想史A・B		日本思想史A・B、政治学A・B、人類学A・B
	人間と自然	哲学A・B、自然科学概論A・B、生命科学A・B、線形数学A・B、解析数学A・B、化学A・B、言語学A・B、論理学A・B、心理学A・B		物理学A・B、環境科学A・B
	外国人留学生のための科目	日本事情A・B・C・D・E・F		
	総合学際演習	総合学際演習、特別テーマ演習科目(総合教育科目) A・B・C・D、卒論指導科目A・B		
特別認定科目(総合教育科目)	特別認定科目(総合教育科目)			
外国語科目	既習外国語	必修 ○口語英語、○英語講義、○基礎英語、○上級英語		発展英語
	初習外国語	必修 ▲ドイツ語、▲フランス語、▲中国語、▲韓国語、▲スペイン語、▲ロシア語、▲日本語(留学生のみ選択可)		
保健体育科目	実習	○体育・スポーツ実習A・B	選択スポーツ実習	
	講義	スポーツとグローバルイノベーション、スポーツと健康	選択集中スポーツ実習	
基本科目		簿記学A・B、ビジネス・インサイト、商学入門	商学専門演習(2年)、特別テーマ演習科目(基本科目) A・B	
		ミクロ経済学、マクロ経済学、理論経済学A・B、経済史A・B、商業総論A・B、経営学総論A・B、会計学総論A・B、統計学A・B、金融総論A・B、貿易総論A・B、商学研究入門、Essentials of Commerce A・B	特別認定科目(基本科目)	

基幹科目	科目詳細は各コースページを参照してください
基幹英語科目	外国専門書講義、Applied Commerce A・B、特別認定科目(基幹英語科目)
商学専門演習	商学専門演習(3年)(4年)、特別テーマ演習科目(基幹科目) C・D、卒論指導科目C・D
応用展開科目	会計特殊講義A・B 特別テーマ実践科目A・B・C・D、特別テーマ研究科目A・B・C・D・E・F、特別テーマ海外研修科目A・B・C・D、地域活性化システム論A・B、総合講座A・B・C・D 外国文化・言語特殊講義A・B
その他	憲法A・B ICTエレメンタリー、ICTベーシックI・II、ICT統計解析I・II、ICTデータベースI・II、ICTメディア編集I・II、ICTアプリ開発I・II、ICTコンテンツデザインI・II、ICT総合実践I・II 民法A・B、商法A・B、労働法A・B

※カリキュラムは一部変更となる場合があります。

Q&A

Q 中学や高校で社会科の科目にあまり興味がもてなかったのですが、商学部で学ぶことは社会科と似た内容なのでしょうか？

Answer もちろん内容は重なる部分が多いのですが、「社会科科目＝暗記」という受験勉強の固定観念は捨ててください。商学部ではビジネス活動のあらゆる局面から、経済活動を詳細に分析し、自ら問題を見つけることが重要になってきます。その問題の解決方法を考え、解き明かしていくことが大学での勉強の中心となります。

Q 1学年に1,000人も目の先生がいると聞いていますが、先生とのコミュニケーションの機会はあるのでしょうか？

Answer 1年次から4年次まで、高校のクラスよりも小さい少人数の演習が用意されています。さらに、「ダブル・コア」プログラムにより、2つの演習を同時に履修することができるため、ふたりの先生からじっくり学ぶことが可能です。また、授業時間以外に担当教員が学生の質問に答える「オフィスアワー制度」もあります。

Q 商学部を卒業しても会社に就職するだけという印象があるのですが、卒業生の方はどのような活躍をされていますか？

Answer 実際に、商学部の卒業生が活躍している業種は、金融業のイメージが強かったですが、近年では、情報通信業、製造業など幅広い分野で活躍する卒業生が目立ってきています。民間企業に勤める場合でも様々な業種や職種がありますが、さらに公認会計士のような専門職、コンピュータSE、公務員、企業経営者、教員、大学院への進学、留学など、卒業後には多くの選択肢があります。

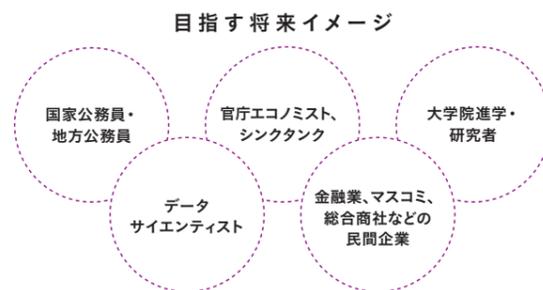


日常生活と密接な関係をもつ経済活動は、市場経済を通じて行われます。現在我々は、お金を払えば、市場における取引を通じて、世界中の様々なものを手に入れることができます。これは我々の社会で市場経済が機能しているおかげです。

経済学は、市場経済の仕組みに対する的確な理解に基づいて、現実の経済問題とその解決策を理論的、歴史的な視点で考察する学問です。アプライド・エコノミクス(応用経済学)コースの目標は、この経済学の体系的な学習を通して、将来、経済活動の担い手になるために必要な能力を備えた人材を養成することにあります。

現在我々は、財政赤字の拡大、人口高齢化や少子化の進行といった国内問題を抱える一方で、グローバル化の進展に

よる経済・通貨危機の発生、環境問題の深刻化といった世界規模の経済問題にも直面しています。これらの問題の解決能力を有する人材を育成していくことがこのコースの役割です。



専任教員氏名および研究テーマ

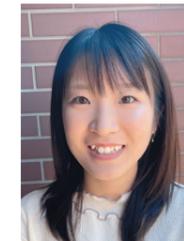
- | | | | | |
|--|--|---|---|---|
| <p>井上 達樹 専任講師
経済史
近代日本における人的資本と経済発展</p> | <p>小林 弦矢 教授
統計学
応用ベイズ統計学</p> | <p>山田 知明 教授
経済政策論
経済格差の動的・一般均衡分析</p> | <p>畑農 鋭矢 教授
公共経済学・財政学
脱落、サンプルセレクション、欠測のデータ分析</p> | <p>熊澤 喜章 教授
中小企業論
イギリス中小企業史の研究</p> |
| <p>海老名 剛 教授
産業組織論
企業行動と競争政策</p> | <p>高浜 光信 教授
国際経済学
通貨同盟、通貨協力に関する経済分析</p> | <p>千田 亮吉 教授
日本経済論
経済モデルによる政策評価</p> | <p>水野 勝之 教授
計量経済学
経済変動モデルの実証分析</p> | |

基幹科目

- | | | | | | |
|------------|------------|------------|------------|----------------|--------------|
| □ 経済政策論A・B | □ 産業組織論A・B | □ 環境経済学A・B | □ 貿易論A・B | □ 日本経営史 | □ 中国政治経済論 |
| □ 公共経済学 | □ 地域経済論A・B | □ 計量経済学A・B | □ 世界経済論A・B | □ 公益事業論A・B | □ 東南アジア政治経済論 |
| □ 財政学 | □ 国際経済学A・B | □ 金融論A・B | □ 労使関係論A・B | □ 経営情報システム論A・B | □ 産業立地論 |
| □ 中小企業論A・B | □ 日本経済論A・B | □ 国際金融論A・B | □ 企業論 | □ 企業と環境問題 | □ 経済予測入門A・B |

STUDENT VOICE

経済や流通を幅広く学び
幅広い視野と
判断力が身につきました



アプライド・エコノミクスコース
3年
中込 結比奈
千葉県立船橋東高等学校卒業

経済学を幅広く、体系的に学べるコース。国際経済学や経済政策論では世界経済の動きをふまえた日本経済の現状や政府の動きなどを探ります。また、公益事業論や環境経済学では普段何気なく利用しているものに焦点を当て、その現状や課題について学んでいます。

[私の時間割(3年次)]

科目名の上段は春学期・下段は秋学期

	月	火	水	木	金	土
1	公益事業論A 公益事業論B	-	企業論 日本経営史	外国専門書講読 外国専門書講読	日本経済論A 日本経済論B	-
2	世界経済論A 世界経済論B	-	-	-	観光事業論A 観光事業論B	-
3	経済政策論A -	-	総合学際演習 総合学際演習	-	産業立地論 -	-
4	商学専門演習 商学専門演習	-	-	-	-	-
5	-	-	-	産業組織論A -	-	-
6	-	-	-	-	-	-

Q この学部・コースを選んだ理由は?

Answer 政治経済や経営、流通など経済について幅広く学べる点に魅力を感じました。公務員になることを検討していたため、大きな枠組みで経済の流れについて学びたいと考え、このコースを選択。授業が面白く、師事したいと考えていた山田先生が本コース所属だったことも決め手でした。

Q 印象に残っている授業は?

Answer 「世界経済論」です。世界各国の社会経済の現状とグローバル化に伴う変化や課題を学べます。興味のある食糧危機や貧困問題などについて、世界各国の状況を幅広く取り上げているのが印象的でした。ニュースだけでは知り得ない知識を得ることができる点が面白かったです。

Q 学びのなかで身についた力は?

Answer 経営やマーケティングなど働くうえで必要となる知識や、世界経済の動向など日常にも役立つ情報など、幅広く身につけることができました。商学部は英語教育にも力を入れているので、ダブル・コア制度を利用して英語系のゼミにも所属。英語力がアップしました。

Q 学んだことをどう活かしたい?

Answer 商学部で得た広い視野と豊富な知識を、将来の就職先でも活かして役立てていきたいと考えています。また、物事をさまざまな視点から見て判断する力も養われました。日常生活においても不確定で膨大な情報に惑わされることなく生活していきたいと思っています。

PICK UP

注目授業

国際経済学の理論と応用

国際経済学
A・B

高浜 光信
教授



国際経済学にはモノを扱う側面とカネを扱う側面のふたつが存在しています。モノを扱う側面は国際貿易論とよばれ、なぜ貿易が行われ、貿易を行うとどのような意味で幸福に(なるとは限りませんが)なるのかの考察が中心です。カネを扱う側面は国際金融論とよばれ、こちらでは各国に別々のカネが存在することで生じる色々な摩擦を考察することが目的です。

自力で政策評価を行う

経済政策論
A・B

山田 知明
教授



経済学を学ぶ理由のひとつとして、昔の有名な経済学者は「経済学者に騙されないため」と答えました。テレビや新聞、ネットで経済問題やその対応策としての経済政策に関する議論を見ていると、賢そうな人たちが互いに矛盾していることを話していたりします。どちらが正しいのでしょうか? 経済政策論はその答えを自分の頭で導き出すための分析ツールを身につけるための授業です。



商学は取引に関する学問です。そのなかでマーケティングは、顧客の欲求を満足させるために、製品、価格、流通、広告などの観点から事業を捉えていきます。今日、情報技術の発達やグローバル化の進展によって、製品やサービスと顧客は、国や地域を越えて移動しています。製品やサービスの取引をみると、売側における広告表現や取引条件、買側における消費行動や購入・決済方法は多様化しています。マーケティング研究では、こうした製品やサービスの取引をより促進させるための考え方を理論とケーススタディの両面から学習します。また、国や地域の社会経済や商工業に影響を及ぼす取引には、モノやヒトの場所的移動という交通が必須となります。そこで時代ごとに変

化する国際間・地域間におけるモノやヒトの移動のあり方について、理論とケーススタディ、現状分析と歴史分析を通じて知見を広めていきます。

目指す将来イメージ



専任教員氏名および研究テーマ

竹村 正明 教授 商業総論 お金儲けは、なぜむずかしいか	菊池 一夫 教授 商業経営論 商業経営論の再構築	加藤 拓巳 専任講師 マーケティング管理論 商品の価値づくりとブランドマネジメント	福田 康典 教授 市場調査論 市場における情報の生成と伝播	竹内 亮介 専任講師 広告論 広告と消費者行動
高橋 昭夫 教授 商品学 インターナル・マーケティング	若林 幸男 教授 流通史 マーケティング史	佐藤 平国 専任講師 消費者行動論 消費者行動研究のためのデータ分析	原 頼利 教授 流通システム論 流通における組織間関係に関する研究	山崎 喜代宏 准教授 競争戦略論 製造企業の持続的競争優位構築の論理の探究
藤井 秀登 教授 交通論 観光交通に関する歴史的・理論的研究	町田 一兵 教授 国際交通論 環太平洋を中心とする国際交通・物流	恩田 睦 准教授 都市・地域交通論 都市・地域交通論、交通史、鉄道史		

基幹科目

- 商業経営論A・B
- マーケティング管理論A・B
- 市場調査論A・B
- 広告論A・B
- インダストリアルマーケティング論A・B
- 商品学A・B
- 流通史A・B
- 消費者行動論A・B
- マーケティング企画A・B
- 競争戦略論A・B
- 交通論A・B
- 物的流通論A・B
- 国際交通論A・B
- 都市・地域交通論A・B
- 公益事業論A・B
- 観光事業論A・B
- 産業組織論A・B
- 情報管理論A・B
- 国際マーケティング論A・B
- 流通システム論A・B
- クリエイティブ・マーケティング論A・B

STUDENT VOICE

授業とダブル・コア制度で
養われた幅広い知識と視野を
コミュニケーションに活かす

マーケティングコース
3年

遠藤 慶介

長野県松本織ヶ崎高等学校卒業



生産者が生み出した製品・サービスを消費者の手元に届けるまでの仕組みや、効率よく消費者に提供する工夫などを学んでいます。商学専門演習では、交通機関を活用した観光地や地域が持つ課題の解決法を考察しています。

[私の時間割(3年次)]

科目名の上段は春学期・下段は秋学期

	月	火	水	木	金	土
1	公益事業論A 公益事業論B	-	-	外国専門書講読 外国専門書講読	-	-
2	世界経済論A 世界経済論B	-	-	-	観光事業論A 観光事業論B	-
3	広告論A 地域活性化 システム論B	-	-	商学専門演習 商学専門演習	スポーツ ビジネス論 インダストリアル マーケティング論A	-
4	広告論B 消費者行動論A	-	-	市場調査論A 流通史B	総合学際演習 総合学際演習	-
5	-	-	-	ファッション ビジネス論A	-	-
6	消費者行動論B	-	-	-	-	-

Q 明治大学商学部を選んだ理由は？

Answer 高校3年生の時点で将来やりたいことが決まっておらず、経済や商業、経営など幅広く学びながら、興味のある分野を見つけるために明治大学商学部を選択。2つのゼミに所属できるダブル・コア制度で広い視野を養える点や、マーケティングを学べる点にも魅力を感じました。

Q 印象に残っている授業は？

Answer 日常生活で触れることが多い広告を、違った視点で見られるようになった「広告論」が印象に残っています。テレビやYouTubeで何気なく見ている動画広告や街中で見かける広告には特徴があること、広告視聴者を購買行動につなげるために広告主がすべき工夫を学びました。

Q 商学部で成長したことは？

Answer 消費者視点で見えてきた商品やサービスを、供給側の視点で考えることができるようになりました。スーパーに並ぶ食品やSNS上で見る広告も、その食品がその場所に届くまでにどのような活動があり、広告にはどのような狙いがあるのかを考えるなど、視野が広がりました。

Q 将来の目標は？

Answer 豊富な授業数とダブル・コア制度を持つ商学部で学んだことで、広い視野で物事を見る重要性を学びました。幅広い知識は、さまざまな人とコミュニケーションをとるうえで武器になります。商学部で身につけた素養をうまく活かし、多くの人と良好な関係を築いていきたいです。

PICK UP

注目授業

都市交通・地域交通の問題について学ぶ

都市・地域交通論
A・B

恩田 睦
准教授



皆さんにとって身近な鉄道やバスといった交通機関は、大都市では朝夕の混雑問題、地方では利用者の減少による存続問題に直面しています。この原因には、鉄道会社やバス会社の経営だけでなく、都市計画や「まちづくり」のあり方が大きく関わっています。この講義では、都市交通・地域交通をめぐる問題の背景とその解決策について、歴史・理論・ケーススタディなどを通じて考えていきます。

価値づくりというマーケティングの根源の知的鍛錬

マーケティング
管理論A・B

加藤 拓巳
専任講師

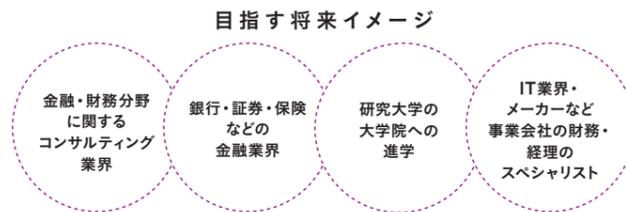


マーケティングの本質は、販売を不要にする価値づくりです。商品・サービスのコンセプトという目的(存在意義)を定め、適切な手段を採用しながら一貫して具現化していきます。その実践に必要な知見は多岐にわたります。それを体系的に学び、かつその知見を実課題に活かす訓練を行います。この繰り返しによって、消費者視点から、マーケター視点への転換を図ります。



グローバル化の潮流は、日本のビジネス社会を根底から変えようとしています。この変動の時代にもっとも改革を期待されているのが、ファイナンス（金融・証券）の分野です。企業や個人をとりまくリスクは、今後増大かつ複雑化するのには必至であり、リスクを管理するためのインシュアランス（保険）の役割が重要となります。このコースでは、こうした変化に対応し、国際ビジネス社会における共通言語としての金融・証券・保険の知識をマスターできるよう、広い分野をカバーした斬新かつ体系的なカリキュラムを組んでいます。さらに、「実学の明治」の伝統をふまえ、証券アナリストなどの資格取得に役立つようにも構成されています。これらの金融資格は、ビジネス社会においてスペ

シャリストとして活躍するための基礎となるでしょう。また、以上の知識は、金融サービス産業だけではなく、広く事業活動を展開する場合や財務分野に従事する際にも大いに役立ちます。



専任教員氏名および研究テーマ

- | | | | |
|--|---|---|--|
| <p>小原 英隆 教授
金融論
家計の金融論とFP実務【NO試験対策】</p> | <p>土屋 陽一 教授
金融論
経済学における情報と期待形成</p> | <p>朝岡 大輔 准教授
コーポレート・ファイナンス
企業金融とコーポレートガバナンスの研究</p> | <p>伊藤 隆康 教授
金融機関論
中央銀行と金融市場、イスラム金融</p> |
| <p>太田 壘 教授
国際金融論
社会学習と行動変容に注目した実証研究</p> | <p>萩原 統宏 教授
金融取引論
経営戦略と企業価値・業績の相互作用</p> | <p>野田 顕彦 教授
証券市場論
金融市場の価格形成機能に関する実証研究</p> | <p>三和 裕美子 教授
機関投資家論
機関投資家とコーポレートガバナンス、ESG投資</p> |
| <p>中林 真理子 教授
保険学
保険会社の企業倫理と消費者保護</p> | <p>藤井 陽一朗 教授
損害保険論
意思決定分析の基礎と保険論への応用</p> | <p>浅井 義裕 教授
保険リスクマネジメント論
中小企業の保険リスクマネジメント、金融教育</p> | |

基幹科目

- | | | | | |
|--------------------|------------|-------------|-------------------|-------------------|
| □ 金融論A・B | □ 国際金融論A・B | □ 機関投資家論A・B | □ 生命保険論 | □ 会計情報論A・B |
| □ コーポレート・ファイナンスA・B | □ 金融取引論A・B | □ 保険学A・B | □ 社会保障論A・B | □ ベンチャー・ファイナンスA・B |
| □ 金融機関論A・B | □ 証券市場論A・B | □ 損害保険論A・B | □ 保険リスクマネジメント論A・B | |

STUDENT VOICE

投資や資産運用の知識を活用して長い人生を「幸せ持ち」として歩む

ファイナンス&インシュアランスコース
3年
福田 結衣菜
栃木県立宇都宮商業高等学校卒業



ファイナンスとインシュアランスの両分野を学べるコース。ファイナンス分野では、機関投資家の視点で投資先企業の決定や企業の評価方法などを学習。インシュアランス分野では、生損保の構造やリスクマネジメントについての知識を身につけることができます。

[私の時間割(3年次)]

科目名の上段は春学期・下段は秋学期

	月	火	水	木	金	土
1	-	-	-	外国専門書講読 国際交通論B	外国専門書講読 会計情報論A	-
2	-	機関投資家論A 機関投資家論B	保険リスク マネジメント論A 保険リスク マネジメント論B	-	保険学A 保険学B	-
3	-	芸術(美術)A	-	国際 マーケティング論A 国際 マーケティング論B	商学専門演習 商学専門演習	-
4	-	-	国際ビジネス 交渉論B	金融取引論A 金融取引論B	ベンチャー・ ファイナンスA	-
5	-	-	-	-	ベンチャー・ ファイナンスB	-
6	-	-	-	-	-	-

Q 商学部・コースを選んだ理由は？

Answer ビジネス・インサイトに惹かれ商学部を選択。企業が実際に直面している課題が提示され、その解決策を提案するという実践的な講義を受けてみたいと考えました。このコースを選んだのは、高校時代に職場体験で銀行に行き、金融や保険に興味を持ったからです。

Q 印象に残っている授業は？

Answer 「ベンチャー・ファイナンス」です。ベンチャー企業に投資をするベンチャーキャピタルの立場に立ち、出資以外に取り組むべき経営サポートについて考えました。ユニークな案から実際に採用できそうな案まで幅広いアイデアが出てきたことが非常に面白かったです。

Q 商学部の学びで身についた力は？

Answer 「機関投資家論」では『賢者のポートフォリオ』というサイトを使って株式投資をゲーム感覚で体験。リアルで状況に応じた最適な銘柄選択ができるようになりました。また、「ベンチャー・ファイナンス」では投資や支援を考える上で必要な業績評価の力が身についたと感じています。

Q 学んだことをどう活かしたい？

Answer コースで身につけた知識は人生においても有用です。人生100年時代には資産運用も大事。少額でも長期的な投資が効果的であるため、NISAなどの制度を吟味して行動に移したいと考えています。今後の人生で「お金持ちではなく、幸せ持ち」になるために、学びを活かしたいです。

PICK UP 注目授業

おカネとは

**金融論
A・B**

土屋 陽一
教授



私たちの生活に「おカネ」は欠かせません。では、そもそもおカネとは何でしょうか？暗号資産はおカネでしょうか？また、おカネがあるとどんなメリットがあるのでしょうか？金融論は、これらの疑問に回答することを目指します。そのために、金融制度・金融市場といったおカネを取り巻く仕組み・環境、金融機関・中央銀行など経済主体の役割を学びます。

金融商品の基礎知識を身につける

**金融取引論
A・B**

萩原 統宏
教授



企業が発行する株式や債券をはじめとする金融商品の価格は、どのようにして決まるのでしょうか。この問題は、それらが発行する経営者にとっても、それに投資する投資家にとっても、議論の尽きない重要な問題です。この講義では、金融商品の価格に関する基礎的な理論と利用法について、最近の実務的な話題も交えながら学習し、上手に利用するための方法について考える機会とします。



日本の経済が世界経済と密接な関係を保ちながら存在するように、今や企業活動は世界の市場を抜きには考えられません。このコースでは、世界と日本との貿易や経済の関係を包括的に研究し、その中で企業の活動や経営を世界的な視野に立って研究します。理論を中心としたサブコースでは、貿易の様々なシステムや制度を知り、世界経済の現状や諸問題を学習することで、世界経済における日本の現状を理解して、将来の見通しを判断する能力を修得します。一方ビジネスを中心としたサブコースでは、日本企業の貿易活動や国際経営活動を幅広く学習すると同時に、異文化間コミュニケーションやビジネス交渉などの企業活動も体系的に理解し、グローバル・ビジネスの場における実践的な能力

を養います。本コースの目的は、理論、ビジネスの両面からのアプローチを設定することで、将来における日本のグローバル・ビジネスをリードする人材を育成することにあります。

目指す将来イメージ



専任教員氏名および研究テーマ

- | | | | |
|--|--|---|---|
| <p>所 康弘 教授
貿易論
国家と貿易
(国際貿易秩序を巡る国家間対立)</p> | <p>鈴木 仁里 専任講師
国際マーケティング論
多国籍企業の国際マーケティングと製品開発</p> | <p>篠原 敏彦 教授
貿易商務論
多国籍企業の組織編成の考察</p> | <p>小林 尚朗 教授
貿易政策論
新しい世界経済秩序と東アジア地域協力</p> |
| <p>山本 雄一郎 教授
ビジネス英語
国際ビジネス交渉</p> | <p>塩澤 恵理 教授
バーバル・ビジネス英語
国際ビジネスコミュニケーション論・国際貿易</p> | <p>李 雨テイ 助教
外国専門書講読
グローバル・バリューチェーン</p> | |

基幹科目

- | | | | | | |
|---------------|----------------|--------------|--------------|----------|----------|
| 貿易論A・B | 貿易政策論A・B | 国際ビジネス交渉論A・B | 中南米地域市場論 | 国際経済学A・B | 物的流通論A・B |
| 国際マーケティング論A・B | ビジネス英語A・B | 北米地域市場論 | アジア・太平洋地域市場論 | 国際金融論A・B | 国際経営論A・B |
| 貿易商務論A・B | バーバル・ビジネス英語A・B | 欧州地域市場論 | 世界経済論A・B | 国際交通論A・B | |

STUDENT VOICE

英語力や学んだ知識を元に
日本のコンテンツを
世界に展開することが目標

グローバル・ビジネスコース
3年
副島 梨音
福岡県私立九州産業大学付属
九州産業高等学校卒業



ビジネス英語や国際マーケティング、国際会計、海外地域の市場・貿易についての歴史や実態などが学べます。幅広い分野から興味のある学びを選択し、独立したそれぞれの分野から関連性を見出し、紐付けて学んでいくことで理解を深めます。

[私の時間割(3年次)]

科目名の上段は春学期・下段は秋学期

	月	火	水	木	金	土
1	-	-	-	国際マーケティング論B	-	-
2	外国専門書講読 バーバル・ビジネス英語A	交通論A	交通論B	-	国際経済学A	-
3	-	芸術(美術)A	総合学際演習	商学専門演習	-	-
4	中南米地域市場論 国際会計論B	-	-	ビジネス英語A ビジネス英語B	-	-
5	貿易論A	-	-	-	-	-
6	-	-	-	-	-	-

Q この学部・コースを選んだ理由は?

Answer 簿記や会計、マーケティングなど実学的な内容を学べる商学部を選択。2つのゼミに所属できるダブル・コア制度にも魅力を感じました。グローバル・ビジネスコースを選んだのは、国際的なビジネスの実態を学んだり英語力を鍛えたりしたいと考えたからです。

Q 印象に残っている授業は?

Answer 「中南米地域市場論」では、中南米という発展途上の段階にある地域に着目して、その歴史や風土に触れつつ、市場について詳しく学ぶことができました。高校の授業ではほとんど取り扱わない地域だったため興味深く、数多くの新しい知識を身につけることができました。

Q 商学部で成長したことは?

Answer 日常生活やビジネスの場面で使われている生きた英語に触れることで英語力が上がりました。また、実際に企業がとったマーケティング戦略の背景について考察するなど、論理的に考えることを求められる授業が多いため、思考力が養われたと感じます。

Q 将来の目標は?

Answer 幼い頃からマンガやアニメが好きでした。現在、このようなジャンルのコンテンツの人気の世界で高まっているので、そのグローバル展開に携わりたいです。実現するために、英語力や幅広い分野にわたる知識、論理的思考力を活かしたいと考えています。

PICK UP

注目授業

多様な視点から学ぶグローバル化の光と影

貿易論
A・B

私たちの日常の暮らしや経済活動は、貿易と強く結びついています。店舗には外国産商品があふれています。多種多様な食材や洋服を購入できる背景には、国際的諸制度の発展と貿易の拡大があります。ところが、近年、国家間の貿易紛争・対立やグローバル化の弊害が明らかになっています。本授業は貿易を通じて、グローバル化の光と影、ならびに国際経済関係を学びます。

所 康弘
教授



ビジネスの現場に必要な英語とは

ビジネス英語
A・B

ビジネス英語では、様々なビジネスの場面を想定し、生きた英語、使える英語を学びます。基本的なビジネスメール・会話を理解するだけではありません。貿易取引、ビジネス交渉の表現にふれ、英文契約書を読み、英字新聞の経済・金融記事などを幅広く紹介します。将来、グローバル化が進むビジネスの第一線で活躍するために必要な英語の基礎づくりに役立ちます。

山本 雄一郎
教授

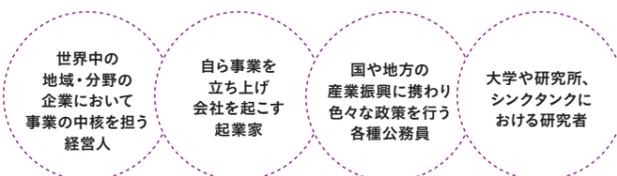




企業活動が行われなければ私たちの生活は成り立ちません。自動車、パソコン、スマートフォン、タブレットからファッション、アニメ、ゲームに至るまで、これらの製品・サービスは企業によって生み出され、私たちの手に届けられています。ところが学生の皆さんにとって、企業の中で日々どのような活動が実際に行われているのかについては、よく分かっていないというのが実態ではないでしょうか。このマネジメントコースでは、そうした企業経営・企業行動の中身について理論的・実証的に学んでいきます。世間では経営学というと、会社を経営するノウハウを学ぶための学問のように思われがちですが、そうではありません。我々の社会生活と深い関係にある企業活動の中身について正しく理解する

ことが大きな目的です。このコースで学ぶことによって、企業活動に限らず身の回りにあふれる様々な組織活動についても深く理解できるようになるでしょう。

目指す将来イメージ



専任教員氏名および研究テーマ

- | | | | |
|--|--|---|---|
| <p>西 剛広 准教授
経営戦略論
コーポレート・ガバナンスとイノベーション</p> | <p>富野 貴弘 教授
生産管理論
ものづくり企業の競争力に関する研究</p> | <p>山下 洋史 教授
情報管理論
経営品質科学に関する研究</p> | <p>村田 潔 教授
経営情報システム論
組織情報倫理学</p> |
| <p>佐藤 香織 准教授
経営組織論・経営労務論
内部労働市場、労働者のメンタルヘルス</p> | <p>久保 隆光 専任講師
労使関係論
働き方の「自己決定」について</p> | <p>會澤 綾子 専任講師
経営管理論・企業論
経営管理、企業の不祥事・不正行為</p> | <p>出見世 信之 教授
経営哲学・経営倫理
企業倫理・CSRおよび企業統治に関する国際比較研究</p> |

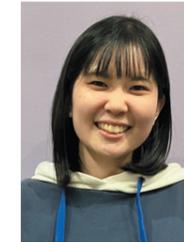
基幹科目

- | | | | | |
|---|---|--|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> □ 経営戦略論A・B □ 生産管理論A・B □ 情報管理論A・B □ 経営情報システム論A・B □ 経営組織論 | <ul style="list-style-type: none"> □ 経営労務論 □ 労使関係論A・B □ 経営管理論 □ 産業心理学 □ 経営哲学 | <ul style="list-style-type: none"> □ 経営倫理 □ 企業論 □ 日本経営史 □ 国際経営論A・B | <ul style="list-style-type: none"> □ ベンチャービジネス論 □ クリエイティブ・マーケティング論A・B □ 企業と倫理A・B | <ul style="list-style-type: none"> □ 保険リスクマネジメント論A・B □ ファッション・ビジネス論A・B □ 企業評価論A・B |
|---|---|--|---|--|

STUDENT VOICE

「なぜ？」の視点を忘れず
コンテンツのあふれる現代に
新たなモノを生み出したい

マネジメントコース
3年
岩花 希詩子
東京都私立明治大学付属明治高等学校卒業



企業経営とものづくりを中心に学習。製品が作られる過程や、企業の強みを生かした戦略についての知見を広げています。企業経営について実践的に詳しく学べるのが、このコースでの学びの面白さです。

【私の時間割(3年次)】 科目名の上段は春学期・下段は秋学期

	月	火	水	木	金	土
1	外書専門書講読 外書専門書講読	-	-	-	会計情報論A 会計情報論B	-
2	-	-	-	-	-	-
3	生産管理論A 生産管理論B	経営倫理 -	-	国際経営論A 国際経営論B	経営戦略論A 経営戦略論B	-
4	クリエイティブ マーケティング論A クリエイティブ マーケティング論B	政治学A 政治学B	-	-	-	-
5	商学専門演習 商学専門演習	-	-	ファッション・ ビジネス論A ファッション・ ビジネス論B	-	-
6	-	-	-	-	-	-

※他学部履修：ビジネスと法A・B(曜日指定なし)

Q この学部・コースを選んだ理由は？

Answer 幅広い領域の科目を通じて視野を広げられると考え、商学部を選択。経営に関する知識だけでなく教養も修得できることが、将来就きたい企画・開発などの仕事に必ず活きたと考えました。このコースを選んだのは、多角的に企業経営について学ぶためには、マネジメントが全ての基礎になり得ると思ったからです。

Q 印象に残っている授業は？

Answer モノ・サービスにつながる製品開発、生産、販売に関する幅広い知識を得られる「生産管理論」です。通常の講義はもちろん、企業の代表や企画開発に携わる方によるゲスト講義も魅力的で、経営に限らない人生のさまざまな場面で活きる貴重なお話が伺えました。

Q 学びのなかで身についた力は？

Answer 何事においてもコンセプトが重要であることを実感しました。自分が何かを考えたときにもコンセプトを意識することで、考えに一貫性が生まれ、物事を円滑に進められます。常に物事をさまざまな角度から捉える姿勢が身につき、説得力のある意見が持てるようになりました。

Q 将来の目標は？

Answer 誰かにとってなくてはならないモノを生み出すことが目標。現代はコンテンツがあふれ、新規性を打ち出すことが難しいと感じます。講義で学んだ「なぜ？」の視点を忘れず、自分の着眼点を大切にすることで、新しいモノを創造したいです。

PICK UP 注目授業

人間は、なぜ情報を獲得しようとするのでしょうか？

情報管理論
A・B

それは、私たち人間が常に不確実な世界で生活し、その不確実性を情報が低下させてくれるからです。例えば、天気予報から得られる情報は、明日の天候が晴れなのか、曇りなのか、雨なのかという不確実性を大幅に低下させてくれます。こうして低下した分の不確実性が、実は情報管理論における「情報量」なのです。情報管理論では、このような情報の果たす役割を皆さんと一緒に考えていきます。

山下 洋史
教授



ものづくりの現場を知る

生産管理論
A・B

この講義では、ものづくりを行う企業の競争力について学びます。ものづくりの現場では、日頃どのような活動が行われているのか、そうした活動が競争力とどのような関係にあるのか、具体的なイメージを描けるようになることを目標とし、体系的に解説していきます。日本企業のものづくりの強みはどこにあり、逆に今、何が課題になっているのでしょうか。一緒に考えていきましょう。

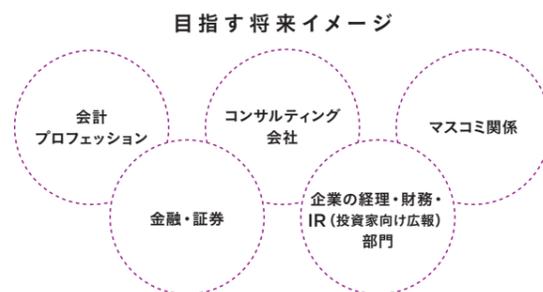
富野 貴弘
教授





“アカウンティング (Accounting)” の意味は、「会計」です。これは“ビジネスの言語”ともいわれ、世界規模での統合が進んでいます。2005年には、EU諸国およびオーストラリアにおいて国際会計基準（現在は国際財務報告基準）とよばれる単一の基準が導入され、2009年には、国際会計と米国会計基準の差異が取り除かれました。もちろん日本でも、現在、国際会計基準を導入した企業は274社に増えて、全上場企業の時価総額に占める割合が47%以上となっています。このように、会計を学ぶことは、世界で通用するスキルを磨くことを意味するのです。本コースは、世界の投資家にビジネスを伝える「アカウンティング」を多面的に分析できる知識を修得することを目的とし、これまでに圧倒的多数の職業会計人（公認会計士、税理士）や企業を支える経理のスペ

シャリストを輩出してきた伝統と実績を有しています。また、大学院教育とも密接な連携をとりつつ、時代の要請に応えられる有為な人材の育成を目指しています。



専任教員氏名および研究テーマ

- | | | | |
|--|--|---|--|
| <p>葛 暁鵬 助教
簿記学
利益計算に係る現代会計基準の変化の意味</p> | <p>姚 俊 教授
財務会計論
サステナビリティと無形資産のマネジメントと開示</p> | <p>千葉 修身 教授
原価計算論
会計言語機能論に基づく現代会計制度の分析</p> | <p>前田 陽 教授
意思決定会計論
日本企業における経営と管理会計</p> |
| <p>小田 康治 専任講師
業績管理会計論
戦略管理会計に関する実践的・文献学的研究</p> | <p>加藤 達彦 教授
監査論
企業や公的組織に対する監査に関する研究</p> | <p>王志 教授
経営分析論
企業の財務業績を向上させるための管理会計</p> | <p>神田 良介 准教授
税務会計論
税務会計学の研究対象と研究方法とについて</p> |
| <p>山本 昌弘 教授
国際会計論
大企業・中小企業のM&Aに関する理論的・実証的・制度的研究</p> | <p>名越 洋子 教授
会計情報論
会計基準の設定過程と事例研究</p> | <p>奈良 沙織 教授
企業評価論
企業のディスクロージャーとアナリスト</p> | <p>松原 有里 教授
租税法
税とSDGs</p> |

基幹科目

- | | | | | | |
|-------------------------------------|-------------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|---|-----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 財務会計論A・B | <input type="checkbox"/> 業績管理会計論A・B | <input type="checkbox"/> 税務会計論A・B | <input type="checkbox"/> 企業評価論A・B | <input type="checkbox"/> コーポレート・ファイナンスA・B | <input type="checkbox"/> 実践会計論A・B |
| <input type="checkbox"/> 原価計算論A・B | <input type="checkbox"/> 監査論A・B | <input type="checkbox"/> 国際会計論A・B | <input type="checkbox"/> 企業法A・B | <input type="checkbox"/> 金融取引論A・B | |
| <input type="checkbox"/> 意思決定会計論A・B | <input type="checkbox"/> 経営分析論A・B | <input type="checkbox"/> 会計情報論A・B | <input type="checkbox"/> 租税法A・B | | |

STUDENT VOICE

会計分野に関する
幅広く専門的な授業を通じ、
スペシャリストを目指す

アカウンティングコース
3年

金崎 修歩

岐阜県立岐阜商業高等学校卒業



財務会計や管理会計といった会計学を中心に、企業経営や財務情報の分析、企業価値評価などに必要不可欠な知識を学習。計算手法や制度を知るとともに、なぜそのような制度が設けられているのかなど、その背景や本質まで追究します。

[私の時間割(3年次)]

科目名の上段は春学期・下段は秋学期

	月	火	水	木	金	土
1	外国専門書講読 外国専門書講読	-	-	意思決定会計論A 意思決定会計論B	会計情報論A 会計情報論B	-
2	世界経済論A 世界経済論B	租税法A 租税法B	保険リスク マネジメント論A 保険リスク マネジメント論B	財務会計論A 財務会計論B	保険学A 保険学B	-
3	企業評価論A 企業評価論B	-	-	業績管理会計論A 業績管理会計論B	原価計算論A 原価計算論B	-
4	-	政治学A	-	商学専門演習 商学専門演習	-	-
5	実践会計論A	-	-	産業心理学A	-	-
6	-	-	-	-	-	-

Q この学部・コースを選んだ理由は？

Answer 高校時代から簿記・会計の学習をしており、さらに知識を深めるため、会計について幅広く学べる明治大学商学部に入学。大学1年次から税理士試験の簿記論・財務諸表論の学習をしていたため、相乗的な学習効果を期待し、アカウンティングコースを選びました。

Q 印象に残っている授業は？

Answer 「会計情報論A」です。会計に関する情報を見る立場から情報開示の現状と決算を支える基本的な考え方を学びます。分かりやすい説明と企業の実例を用いた解説で、実務上でのどのような会計処理が行われているのかということを知ることができました。

Q 学びのなかで身についた力は？

Answer 物事の本質を捉え、考え抜く力が身についたと感じています。「実践会計論」「企業評価論」「原価計算論」など幅広い授業が展開されており、それぞれの専門分野に特化した先生方から指導を受けることができますので、多角的に会計の専門的知識を修得することができました。

Q 将来の目標や進路は？

Answer 商学部で身につけた専門的な知識や思考力を、税理士としてクライアントの抱える様々な課題を解決することに活かしたいです。今後は、早期卒業制度を利用して会計専門職大学院に進学したのち、さらに多くの知識を積み上げていきたいと考えています。

PICK UP

注目授業

会計の原理と実践

財務会計論
A・B

姚 俊
教授



財務報告は企業と様々なステークホルダーのコミュニケーションの手段として不可欠です。財務会計論は企業の事例を使って、財務報告の作成や解釈などの原則と実践を学ぶ授業です。また、会計領域の最先端の課題と発展も紹介し、異なるレベルの学生に対して、柔軟な対応を取りながら、アクティブラーニングのツールを活用した新たな授業の方式を模索しています。

「価格」と「コスト」の仕組み

意思決定
会計論A・B

前田 陽
教授



意思決定会計論は「企業の意思決定を、会計情報を用いて有用に行うにはどうすればよいのか？」をテーマとした講義です。企業として、「利益を獲得する」という点を見逃すことはできません。会計では「利益＝売上－コスト」と計算され、利益を多く得るには売上を増やすか、コストを引き下げねばなりません。本講義では、このような利益を生み出す多様な管理会計手法を扱っています。



IT革命、グローバル化、少子高齢化、市場経済化など、社会の大きな変動のなかで、日本経済はパラダイムの転換を遂げつつあります。まさに産業構造そのものの転換が迫られており、そこには新たなビジネスチャンスがひそんでいます。本コースは、そのような社会変化を見据え、2004年度に新設されたコースです。最新かつ斬新な科目群を設置し、実践的で現場密着型の少人数教育を実践することによって、イノベーションを構想し実践的に主導できる人材を育成します。

目指す将来イメージ



専任教員氏名および研究テーマ

高野 公三子 特任講師

ビジネス・インサイト
ファッション文化論・「定点観測」論と実践

中山 千尋 特任講師

ビジネス・インサイト
キャリア教育・グローバル人材育成・観光

水野 誠 教授

クリエイティブ・マーケティング論
消費者行動における複雑性と創造性

東野 香代子 特任講師

ファッション・ビジネス論
海外ラグジュアリーブランドの広報戦略

松尾 隆策 特任准教授

地域活性化システム論
道の駅を拠点とした
地域活性化に関する研究

基幹科目

- 異文化間コミュニケーション論
- バイオテクノロジーとバイオビジネス
- 企業と倫理A・B
- 企業と環境問題
- メディアとリテラシー
- 中国政治経済論
- 東南アジア政治経済論
- スポーツビジネス論
- レジャービジネス論
- 産業立地論
- 経済予測入門A・B
- 流通システム論A・B
- ペンチャー・ファイナンスA・B
- e-ビジネスA・B
- ビジネス法務A・B
- ペンチャービジネス論
- 実践会計論A・B
- クリエイティブ・マーケティング論A・B
- ファッション・ビジネス論A・B
- 消費者行動論A・B
- ビジネス英語A・B
- 経営戦略論A・B
- 企業評価論A・B

STUDENT VOICE

変化し続ける社会に潜む
新たなビジネスチャンスをつかむために

クリエイティブ・ビジネスコース
3年
大澤 諒祐
熊本県立第二高等学校卒業



ファッションビジネスやスポーツビジネス、レジャービジネスといった多岐にわたる分野のビジネスについて、最新の情報をふまえながら学んでいます。所属しているゼミでは統計ソフトを使用したデータ分析など実践を通じて知識を深めています。

【私の時間割(3年次)】

科目名の上段は春学期・下段は秋学期

	月	火	水	木	金	土
1	-	-	-	-	-	-
2	外国専門書講読	企業と環境問題			保険学A	
	外国専門書講読				保険学B	
3	商学専門演習	芸術(美術)A			スポーツビジネス論	
	商学専門演習					
4	クリエイティブ・マーケティング論A メディアとリテラシー			市場調査論A	バイオテクノロジーとバイオビジネス	
				市場調査論B	レジャービジネス論	
5				ファッション・ビジネス論A ファッション・ビジネス論B		
6						

Q 明治大学商学部を選んだ理由は？

Answer 入学後、幅広く学んだ後に、7つのコースから興味・関心にあったコースを選択できることが決め手です。最初から専門分野に絞らず、さまざまな分野を学ぶことで、多様性が謳われる現代社会で柔軟に対応していくための知見を得られると考えました。

Q 印象に残っている授業は？

Answer 「レジャービジネス論」では、サービスを提供する側の視点で、趣味の時間に潜む多種多様なビジネスチャンスについて考えます。扱われるテーマが身近なもので、各回で紹介されるエピソードが印象的。楽しみながら学習できる授業です。

Q 学んだことをどう活かしたい？

Answer 幅広い視野を持って、色々なところにアンテナを立てる姿勢が身につきました。例えば近年はChat GPTをはじめとする生成AIの台頭が日本でも話題になりました。こうした社会の変化の中に潜む多くの新たなビジネスチャンスを逃さず捉えたいです。

Q 将来の目標は？

Answer 常に学び続ける姿勢を保って、新しいビジネスやサービスの創出に携わりたいです。変化の激しい社会においても最新の情報を捉え、商学部で学んだ基礎知識と掛け合わせて、ビジネスに展開することで社会に貢献していきたいと考えています。

PICK UP

注目授業

時代の先端のマーケティングを学ぶ

クリエイティブ・マーケティング論A・B

水野 誠
教授



企業や非営利組織にとって現在最も重要な課題のひとつは、いかに画期的な新製品・新サービスを創造し、それをどんな斬新な方法で顧客に届けるかです。この講義では、顧客の潜在的なニーズやウォンツをどう理解し、それに合致する製品やサービスをどのように創り出すか、最新のメディアやチャネルを用いて、いかに顧客との関係を構築するかについて学んでいきます。

地域の課題を学び、解決方法を提案する

地域活性化システム論B

松尾 隆策
特任准教授



地方創生政策は、各地域がそれぞれの特徴を活かして、持続的に発展できるように促す政策です。その拠点として有名なのが地域に設置された「道の駅」で、地域住民のアイデアが地域活性化に活かされる場となっています。授業では、グループディスカッションの時間を設け、人口減少や高齢化等、地域が直面する様々な課題について、地域住民の立場で考え、解決策を生み出す力を養います。

商学部独自の留学支援

商学部は、国際交流の推進に力を入れています。「留学生交流の基本方針」を学内で初めて策定し、国際交流全般について、国際教育センターおよび商学部国際交流委員会を中心とした支援体制を確立しています。

商学部独自の協定校

明治大学は多数の海外の高等教育機関等と交流協定を結んでいます。商学部にはさらに学部独自の協定校が4校あり、商学部生の協定校への留学と協定校の学生の受け入れを推進しています。交換留学生として協定校へ留学すると、親身なサポートを受

けながら、充実した環境の中で専門科目や語学の勉強ができます。また、商学部国際交流委員会では学生と教員が海外での経験を報告し合ったり、国際交流についてともに考えたりしています。留学は語学力が身につくだけでなく、異文化での様々な体験を通して大きく成長する機会となります。留学することで得る、優れたコミュニケーション能力は将来国際社会で活躍する際に大いに役立つでしょう。



カーディフ大学カーディフビジネススクール
(イギリス・カーディフ)



パリ商業高等大学マネジメント学部
(フランス・パリ)



ブレーメン経済工科大学
(ドイツ・ブレーメン)



レンヌ商科大学
(フランス・レンヌ)



延世大学 人文社会科学学部
(大韓民国・ウォンジュ)

STUDENT VOICE

フランス・パリ商業
高等大学へ留学
2023年9月～
2023年12月

グローバル・
ビジネスコース
4年

高野 七海

山梨県
私立駿台甲府高等学校卒業



自分の意見を持ち、発言することの大切さを実感しました

幼い頃から留学に興味があり、大学在学中に必ず行こうと決めていましたが、コロナ禍によりなかなかできませんでした。3年次の時、徐々に渡航が可能になり、母との海外旅行がきっかけで留学への思いが再燃。自分の専攻に合致した講義を受けられるパリ商業高等大学への学部間協定プログラムを見つけ、出願しました。留学先で特に印象的だったのはブレゼンの機会と生徒の発言の多さ。どの授業でも常に意見を求められ、自分が他者に意見

を伝えることに苦手意識があることに初めて気づきました。フランス人は日常会話の中でもよくディベートするので、ともに過ごすうちに徐々に克服できたと感じます。フランス語は初心者なので意思疎通が難しいこともありましたが、様々な手段を使って自分の意思がしっかり伝わるよう努めました。卒業後は海外市場でのマーケティングに関する部署に勤務予定。語学力と、自分の意見を持ち、きちんと主張する姿勢を活かしたいです。

商学部主催 短期留学プログラム

1 ミュンヘン大学付属語学学校 ドイツ語夏期集中講座

明治大学商学部とミュンヘン大学付属語学学校 (Deutschkurse bei der Universität München) との協力合意にもとづき、例年8月に開催されるミュンヘンでのドイツ語夏期集中講座に、商学部生を派遣するプログラムです。ドイツ語力をアップさせることはもとより、さまざまな国・地域からの学生と交流して国際経験を積む機会になります。



ドイツ・ミュンヘン大学付属語学学校

2 The World of Australian Wine

オーストラリア西海岸の町、パースにあるカーティン大学でワインの製造やワイナリーのブランド戦略などを切り口にビジネスを学ぶことができる明大生のための研修プログラムです。スワン・バレー地域にあるワイナリーを見学し、テーマとなるワインのロゴデザインやポスターの制作も行います。座学だけでなく、週末のフィールドワークやホームステイも魅力の一つです。



オーストラリア・カーティン大学

3 フレンチファッション・プログラム

ファッションの本場パリで約2週間、第一線で活躍する講師陣から、ラグジュアリーブランドの歴史やファッションビジネス、マーケティング戦略を学びます。プログラムの詳細はp33をご覧ください。



フランス・モダールインターナショナル学院

STUDENT VOICE

ブレーメン経済工科大学から
明治大学へ留学
2023年9月～2024年3月

**クリスチャン・
クリンガー**



頼りになる友人のおかげで、日本語スキルが上達しました

私の大学では、専攻のカリキュラムに日本留学が含まれています。明治大学を選んだのは、名門校として有名であり、日本語で講義が受けられるからです。現代的なキャンパスや課外活動が充実している点も魅力に感じました。留学してみて日本語で自由に自己表現をすることの難しさを感じていましたが、

周りのたくさんの日本人学生が助けになってくれました。私の間違いを訂正したり、相談に乗ってくれたりした友人達にはとても感謝しています。今後の目標は留学中に学んだことをインターンシップで活用することです。上達した日本語スキルと経営学の知識を活かせる職場を見つけたいと思っています。

フレンチファッション・プログラム

フランスで学び・体感するラグジュアリー！

フランス・モデルインターナショナル学院 

プログラムについて

パリのファッションビジネススクール、モデル・インターナショナル学院での2週間の集中講座です。ファッションビジネスの中でも、特にラグジュアリーに特化したブランドマネージメント全般を学びます。ブランドビジネスの最先端で活躍中のプロフェッショナル達が、講師として授業を担当します。オートクチュール、ブランディングなどに加えて、パリならではの循環型ファッションやNFTなどの最新の課題も取り上げます。また、ブランドの社内研修も含まれています。なお、ファッションに関する授業は英語で行われます。最終授業日には2週間のプログラムで学んだこと的印象について、英語で発表する機会があります。



研修校について

モデル・インターナショナル学院(明治大学の協定校)はパリでも定評のあるデザイナー養成ならびにファッションビジネス教育を専門に行う教育機関です。卒業生はフランスの主要ブランド企業にキャリアとして就職しています。



MESSAGE **東野 香代子 特任講師**

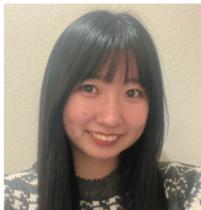
フレンチファッション・プログラムはファッションの本場パリで、ブランドビジネスについての最新の理論を習得し、それが実際の現場でどのように具現化されているのかを学ぶ研修です。モードの現場には、デジタルやリモートにはない人間の五感を刺激する要素がたくさんあります。また、滞在中はアパートホテルで生活しながら、異文化との触れ合いを含めて、観光では体験できない社会の仕組みを知ることができます。パリのおしゃれな人たちが集うエリアの空気感、人々の音楽や美術への関心度合いなど、フランスのファッションデザインがどんな環境から生まれるのかを考えるきっかけになるプログラムです。

PROFILE

東京外国語大学フランス語学科卒。エルメスジャパン広報部長、ハーバース・バザー日本版副編集長を歴任、現在はファッションビジネス研究所代表取締役。モデル・インターナショナル学院日本代表として、明治大学で2週間の短期留学講座フレンチファッション・プログラムを主催。

STUDENT VOICE

マーケティングコース
3年
福浦 愛理
埼玉県立浦和第一女子
高等学校卒業



実際にブランドショップを訪れ、知識と現実を結びつけて学びました

ブランドマーケティングに関して、アパレルに留まらず、ジュエリーや香水、NFTなど幅広い分野を、その道に精通する講師の方々の指導のもと学びました。特に印象に残っているのはビジュアルマーチャンダイジングの授業。基本的な知識を学んだ後に、実際にランゼリゼ通りの店舗を訪れ、観察することで、知識と現実を結びつけられ、一層理解が深まったと感じます。また、本プログラムでは常に主体性が求められるため、積極性や探究心が鍛えられました。現在進めているゼミの研究においても、小さな疑問点やアイデアを見逃さず、突き詰めることを心がけています。何事においてもこの姿勢を大切にしたいです。

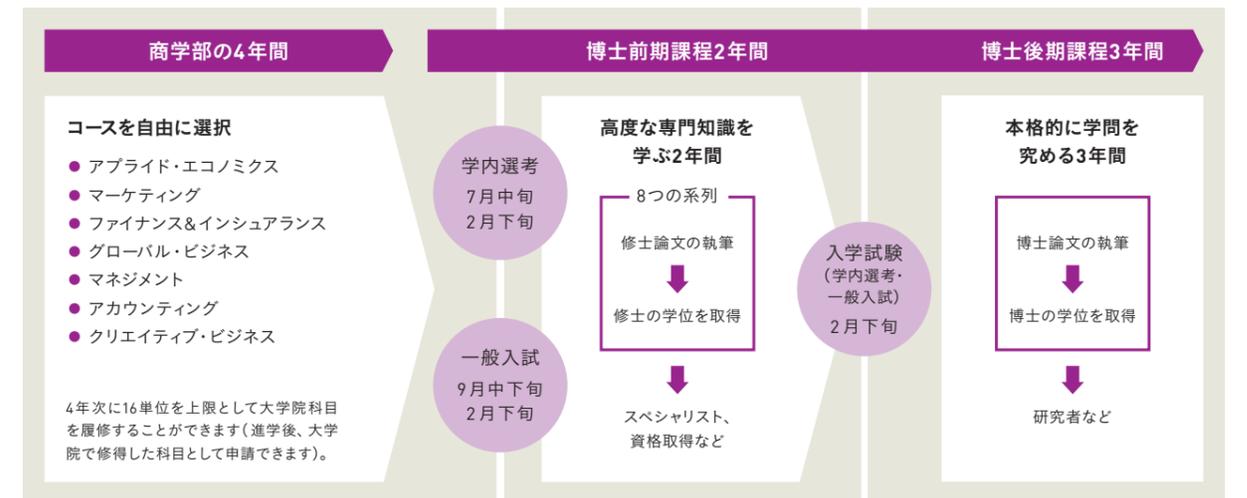
大学院商学研究科

大学院商学研究科では明治大学商学部における教育を基礎に、より一層高度な知識と教養を深めることができます。大学院進学を卒業後の選択肢のひとつに加えてみませんか。

現代の商学は、高度でダイナミックに展開しており、問題解決能力の養成が強く求められています。伝統ある商学部を基礎をおく商学研究科は、これまで数多くの有能な実務スペシャリストと優秀な研究者を実業界・学界に送り出してきました。商学研究科は開かれた大学院であり、商学部から多数の学生

が進学するほかにも、海外からの留学生の受け入れや協定校留学制度による国際交流にも積極的に対応しています。商学部からの大学院進学については、学部の成績を重視した学内選考や3年早期卒業制度が設けられています。

[商学部から大学院商学研究科への道]



大学院進学の3つのポイント

■ 8つの系列

経済系列	商業系列	経営系列	会計系列
金融・証券系列	保険系列	交通系列	貿易系列

■ 経済支援・研究助成

豊富な独自奨学金・充実した研究助成を通じ、大学院生が研究活動に存分に打ち込むことができるよう、大学院での学生生活を後押ししています。

大学院の魅力をもとめた特設サイト「新たな知の創造を」



■ 商学部からの進学 学内選考基準(2023年度実施)

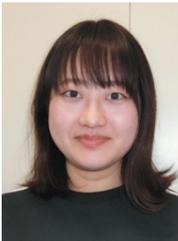
7月と2月の学内選考入学試験の場合、商学部4年次在籍者で以下①または②のいずれかの条件を満たす必要があります。

- ①卒業要件科目から100単位以上を修得し、そのうち「S」または「A」の評価の単位が50%以上であること
- ②卒業要件科目から100単位以上を修得し、修得した基本科目、基幹科目および商学専門演習について、「S」または「A」の評価の単位が50%以上であること

STUDENT VOICE 大学院生からのメッセージ

大学院で深めた知識を活かし、経済の活性化に寄与することが将来の目標です

大学院商学研究科博士前期課程1年
江口 侑花
東京都私立田園調布学園高等部卒業



学部時代から会計分野で働きたいという思いがあり、進路選択時に改めて自分自身を見つめ直し、より深く商学を学びたいと考え、進学を決めました。研究の対象は中小企業の事業承継。企業の後継者不足問題に関心があり、日本の現状を調べるなかで問題意識を抱いたのがテーマ選択のきっかけです。大学院では専門性の高い事柄に対して常に自分の意見・考えを求められ、批判的な視点が鍛えられました。将来は専門性を活かせる職に就き、地方創生や地域経済、さらには社会経済全体の活性化に少しでも寄与したいと考えています。

資格に強い商学部

商学部には、資格取得に関連する様々な授業があります。
商学部で学ぶことで、資格試験や各種公務員試験受験のための準備をすることが可能です。

大学の授業は必ずしも資格の取得を目指すものではありませんが、商学部で学ぶことで受験のための有効な準備ができます。商学部の授業と関連のある資格には以下のようなものがあります

が、資格は、取得することが最終目的ではなく、それを実作業へ活用することが目的です。資格を取得することで、実務を行う上での学問的な土台を形成することができます。

[各種資格試験と商学部教育]

関連する商学部の授業	資格	主な業務の内容	試験科目(部分)
経営学総論、簿記学、会計学総論、統計学、金融総論、会計特殊講義のほか、アカウントティングコースの基幹科目と他コースの科目	公認会計士	企業の財務諸表と内部統制の監査を独占的に行う会計専門職業人。ほかに税務やコンサルティング業務を通じて経済社会を支援	(短答試験)財務会計論、管理会計論、監査論、企業法(論文試験)会計学、監査論、企業法、租税法、そのほか選択科目として経営学、経済学、民法、統計学から1科目
経済学、簿記学、会計学総論、財務会計論、税務会計論、企業法、租税法など	税理士	税務、会計関係業務。企業運営上の経理、税務上の経営コンサルティング業務など	会計学(簿記論、財務諸表論)、各種税法
経済学、会計学総論、統計学、金融取引論、証券市場論、機関投資家論、財務会計論、経営分析論など	証券アナリスト	会社や産業を研究・分析し、証券・株式への投資について投資家などにアドバイスを行う	(1次)証券分析とポートフォリオ・マネジメント、財務分析、経済 (2次)上記3科目に職業倫理・行為基準が加わる
マーケティング管理論、流通システム論、競争戦略論、生産管理論、情報管理論、経営情報システム論、経営労務論など	中小企業診断士	企業の経営状態の診断、改善点の指摘、指導、経営コンサルティング業務	(1次)経済・財務会計・経営などに関する知識 (2次)中小企業の診断および助言に関する実務事例など
金融論、証券市場論、機関投資家論、保険学、損害保険論、生命保険論、保険リスクマネジメント論など	ファイナンシャル・プランナー(F・P)	顧客に応じた貯蓄計画、投資対策、保障対策、税金対策等の資産設計業務	金融資産・不動産運用設計、ライフプランニング、リタイアメントプランニング、リスクと保険、タックスプランニング、相続・事業継承設計など
社会保障論、経営労務論、労使関係論、労働法など	社会保険労務士	労働社会保険諸法令に基づく申請書・帳簿書類の作成、申請書等の提出代行、労務管理・社会保険に関する相談	労働基準法等の労働社会保険法令、労務管理そのほかの労働および社会保険に関する一般常識
貿易論、国際マーケティング論、貿易商務論、貿易政策論など	通関士	輸入申告書・輸出申告書等の通関書類の審査、税関調査・検査・処分についての主張・陳述など	通関業法、関税法、関税定率法その他関税に関する法律および外国為替および外国貿易法

[経理研究所]

明治大学国家試験指導センター経理研究所は、1948年に設立された日本初の公認会計士養成機関で、多くの公認会計士を輩出しています。日商簿記検定2〜3級合格を目指す簿記講座と公認会計士試験の計算力をつける会計士講座を開講し、学習に最適な支援サポートが受けられます。

[経理研究所特別会計研究室入室試験]

場所	対象者	募集時期	選考方法
駿河台	短答式試験受験経験者	7月・2月	筆記試験(会計学)・書類審査・面接
和泉	短答式試験未受験者	随時受付	書類審査・面接

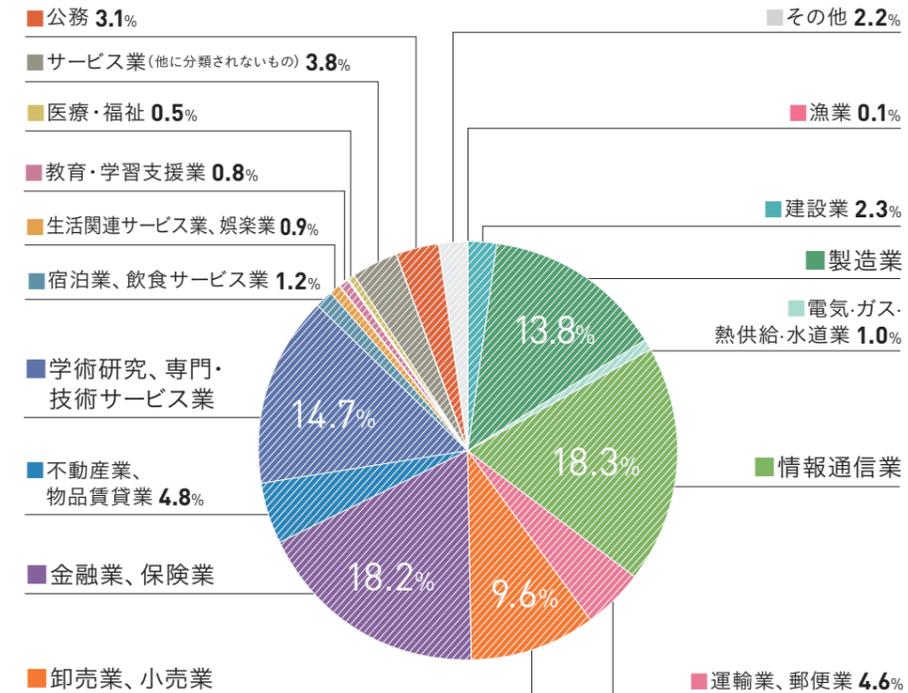
商学部の就職実績

就職するにあたって、もっとも実用的な学問を学ぶことができる商学部。実際に商学部の内定率は高く、就職先は多岐にわたります。

めまぐるしく変動する世界情勢に伴い、企業の採用状況も大きく変化しています。このような中、明大生の内定率は、大学全体の平均を大きく上回り健闘しています。これは、本学卒業生の社会での活躍が高い評価を得て、「就職に強い」伝統を築いたことの表れと考えられます。就職キャリア支援センターでは、明治大学独自の就職情報サイト「M-Career」を中心に「相談」「情報

提供」「支援行事」を実施し、年間を通じて手厚くサポートしています。また、商学部ゼミナール協議会でも、就職関連のイベントを開催しています。就職は将来を決める大きな節目です。自己分析をしっかりと行い、大学で修得した知識・資格などを活かせる就職を目指して、果敢にチャレンジしてください。

業種別 就職状況 (2023年度卒業生)

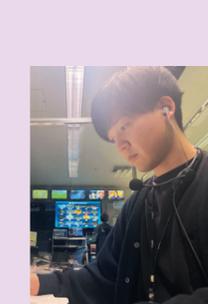


主な就職先企業・団体名

- 金融業、保険業**
 - 株式会社三菱UFJ銀行
 - 株式会社みずほフィナンシャルグループ
 - 株式会社三井住友銀行
 - 東京海上日動火災保険株式会社
 - 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 情報通信業**
 - 株式会社野村総合研究所
 - 楽天グループ株式会社
 - 株式会社NTTドコモ
 - レバレッジズ株式会社
 - 日本アイ・ピー・エム株式会社
- 製造業**
 - アイリスオーヤマ株式会社
 - 株式会社バンダイ
 - TOPPAN株式会社
 - 大日本印刷株式会社
 - 株式会社パナソニックエレクトロニクス
- 学術研究・専門・技術サービス業**
 - 東京電力ホールディングス株式会社
 - ソニーグループ株式会社
 - 有限責任監査法人トーマツ
 - 有限責任あずさ監査法人
- 卸売業、小売業**
 - 伊藤忠商事株式会社
 - 株式会社エトリア
 - 株式会社良品計画
 - 株式会社ファーストリテイリング
 - イオンリテール株式会社

※パーセンテージは四捨五入された数字のため、合計しても100%にならない場合があります。

INTERVIEW 就職活動体験談



株式会社テレビ朝日勤務
グローバル・ビジネスコース
2020年3月卒業
平井 聡一郎
愛知県立豊田南高等学校卒業

本気の思いを伝えきり 希望職種の内定をつかみ取りました

報道の力で世の中をより良くしたいという思いがあり、メディアへの就職を強く希望。熱意を面接官にしっかりと伝えることを意識していました。就職活動において大きな力となったのは、ゼミで取り組んだ産学連携プロジェクトでの経験です。自動車メーカーの社員とゼミ生がチームになり、若

者向けの新型車の販売戦略案を検討。班員同士がぶつかり合ったり、自分の意見を根本から否定されたりすることもありましたが、議論の過程で自分の発言に説得力や魅力を持たせるべく試行錯誤した経験が、思いを伝える面接の場でも役に立ちました。

STUDENT VOICE

手厚いサポートが 公認会計士試験の合格を支えてくれました

アカウントティングコース
3年
鰐淵 裕太
東京都私立海城中高等学校卒業



本学商学部は公認会計士資格を取得するために最適な環境です。私が所属するコースでは、多くの講義で会計士試験に役立つ内容が学べます。また、受験勉強のために設けられた自習室や、合格者を対象とした報奨金制度など、設備や制度の面でも手厚いサポートが受けられました。会計は数字一つでその会社の運命を左右する大変重要なもの。会社に寄り添いつつも、独立性を保てる監査人を目指します。

MESSAGE 卒業生メッセージ

単に知識を学ぶだけでなく 議論を通じて理解を深める講義が 資格取得に役立ちました

有限責任監査法人トーマツ勤務
黒瀧 太斗
商学部商学科2022年卒業
青森県立弘前実業高等学校卒業



公認会計士資格の魅力は活躍の幅が広いこと。人生の選択肢を増やしたいと考え、取得しました。商学部での学びで特に役立ったのは、国際会計論の講義です。各会計基準について、単に知識を学ぶだけでなく、議論を通じて理解を深められました。現在は、金融機関の監査を担当しています。知識や経験を培い、顧客の抱える課題解決に一層貢献できる人材になりたいです。

入試情報

詳細は、明治大学入試総合サイトに公開される入学試験要項をご確認ください。
 一般選抜：11月上旬公開予定
 公募制特別入試：7月上旬公開予定

学部別入学試験 Web出願

学部別入学試験における「学部別方式」と「英語4技能試験利用方式」は併願可能です（入試問題は同じ）。

募集人数	学部別方式：485名、英語4技能試験利用方式：15名	試験日	2月16日(日)	
出願期間	1月6日(月)～1月27日(月) ※消印有効	合格発表日	2月25日(火)	
試験科目・配点		手続締切日	3月4日(火) ※消印有効	
学部別方式	教科	時限	科目	配点
試験科目・配点	外国語	1時限(80分)	「英語」(英語コミュニケーションⅠ～Ⅲ、論理・表現Ⅰ～Ⅲ)、「ドイツ語」、「フランス語」から1科目選択	150点
	国語	2時限(60分)	「国語」(現代の国語、言語文化) ※漢文の独立問題は出題しない	100点
	地理歴史、公民、数学	3時限(60分)	「歴史総合、世界史探究」、「歴史総合、日本史探究」、「地理総合、地理探究」、「公共、政治・経済」、「数学」(数学Ⅰ～Ⅱ、数学A「図形の性質、場合の数と確率」、数学B「数列」)から1科目選択	100点
	合計(3科目)			350点
英語4技能試験利用方式	★英語	1時限(80分)	「英語」(英語コミュニケーションⅠ～Ⅲ、論理・表現Ⅰ～Ⅲ) ★本学部の英語の試験を受験する必要がある ★英語4技能資格・検定試験のスコアを出願資格として利用。	300点
試験科目・配点	国語	2時限(60分)	「国語」(現代の国語、言語文化) ※漢文の独立問題は出題しない	150点
	地理歴史、公民、数学	3時限(60分)	「歴史総合、世界史探究」、「歴史総合、日本史探究」、「地理総合、地理探究」、「公共、政治・経済」、「数学」(数学Ⅰ～Ⅱ、数学A「図形の性質、場合の数と確率」、数学B「数列」)から1科目選択	100点
	合計(3科目)			550点

全学部統一入学試験 Web出願

募集人数	全学部統一入学試験：80名	試験日	2月5日(水)	
出願期間	1月6日(月)～1月17日(金) ※消印有効	合格発表日	2月13日(木)	
試験科目・配点		手続締切日	3月4日(火) ※消印有効	
試験科目・配点	教科	時限	科目	配点
試験科目・配点	外国語	1時限(60分)	「英語」(英語コミュニケーションⅠ～Ⅲ、論理・表現Ⅰ～Ⅲ)、「ドイツ語」、「フランス語」から1科目選択 配点100点を200点に換算する。	200点
	国語	2時限(60分)	「国語」(現代の国語、言語文化) ※漢文を除く 配点100点を150点に換算する。	150点
	地理歴史、公民	3時限(60分)	「歴史総合、世界史探究」、「歴史総合、日本史探究」、「地理総合、地理探究」、「公共、政治・経済」	100点
	数学	4時限(60分)	「数学」(数学Ⅰ～Ⅱ、数学A、数学B「数列」、数学C「ベクトル」)	100点
合計(3科目)				450点

大学入学共通テスト利用入学試験 Web出願

合否判定は、大学入学共通テストの成績のみで行い、明治大学の個別学力検査等は行いません。
 日程・方式間の併願は、すべて可能です。商学部では、英語リスニングテストは必須です。

募集人数	前期：4科目50名、5科目45名、6科目30名 後期：30名	試験日	1月18日(土)／1月19日(日) ※「令和7年度大学入学共通テスト受験案内」を参照してください。
出願期間 ※消印有効	前期(4科目・5科目・6科目方式)：1月6日(月)～1月17日(金) 後期：2月21日(金)～2月28日(金)	合格発表日	前期(4科目・5科目・6科目方式)：2月13日(木) 後期：3月14日(金)
試験科目・配点		手続締切日 ※消印有効	前期(4科目・5科目方式)：3月4日(火) 前期(6科目方式)：3月11日(火) 後期：3月25日(火)
前期(4科目方式)	教科	科目	配点
試験科目・配点	国語	「国語」	200点
	外国語	「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「韓国語」から1科目 「英語」は、リーディング100点を120点、リスニング100点を80点にそれぞれ換算し、計200点とする。「英語」を選択する受験者は、リーディングとリスニングの双方を受験すること。いずれかを欠席した場合は英語欠席者とし、合否判定の対象外とする。	200点
	数学	「数学I、数学A」、「数学II、数学B、数学C」から1科目 経過措置科目：「旧数学I・旧数学A」、「旧数学II・旧数学B」から1科目 大学入学共通テストの配点100点を200点に換算する。2科目を受験した場合には、高得点の科目の成績を合否判定に利用する。 ●下記の科目のうちから1科目を選択。2科目以上を受験した場合には、高得点の科目の成績を合否判定に利用する。 「地理歴史」「公民」および「理科」は、第1解答科目・第2解答科目にかかわらず合否判定対象とする。	200点
	地理歴史	「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」 経過措置科目：「旧世界史B」、「旧日本史B」、「旧地理B」 大学入学共通テストの配点100点を200点に換算する。	200点
	公民	「公共、倫理」、「公共、政治・経済」 経過措置科目：「旧現代社会」、「旧倫理」、「旧政治・経済」、「旧倫理、旧政治・経済」 大学入学共通テストの配点100点を200点に換算する。	
	理科	「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」、「物理」、「化学」、「生物」、「地学」 大学入学共通テストの配点100点を200点に換算する。	
情報	「情報I」 経過措置科目：「旧情報」 大学入学共通テストの配点100点を200点に換算する。		
合計(4科目)			800点
前期(5科目方式)	国語	「国語」	200点
試験科目・配点	外国語	「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「韓国語」から1科目 「英語」は、リーディング100点を120点、リスニング100点を80点にそれぞれ換算し、計200点とする。「英語」を選択する受験者は、リーディングとリスニングの双方を受験すること。いずれかを欠席した場合は英語欠席者とし、合否判定の対象外とする。	200点
	数学	「数学I、数学A」、「数学II、数学B、数学C」から1科目 経過措置科目：「旧数学I・旧数学A」、「旧数学II・旧数学B」から1科目 大学入学共通テストの配点100点を200点に換算する。2科目を受験した場合には、高得点の科目の成績を合否判定に利用する。 ●下記の科目のうちから2科目を選択。3科目以上を受験した場合には、高得点の科目の成績を合否判定に利用する。 「地理歴史」「公民」および「理科」は、第1解答科目・第2解答科目にかかわらず合否判定対象とする。同一教科内について、2科目の利用可。	200点
	地理歴史	「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」 経過措置科目：「旧世界史B」、「旧日本史B」、「旧地理B」	200点 (100点×2)
	公民	「公共、倫理」、「公共、政治・経済」 経過措置科目：「旧現代社会」、「旧倫理」、「旧政治・経済」、「旧倫理、旧政治・経済」	
	理科	「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」、「物理」、「化学」、「生物」、「地学」	
	情報	「情報I」 経過措置科目：「旧情報」	
合計(5科目)			800点

前期(6科目方式)	国語	「国語」	200点
試験科目・配点	外国語	「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「韓国語」から1科目 「英語」は、リーディング100点を120点、リスニング100点を80点にそれぞれ換算し、計200点とする。「英語」を選択する受験者は、リーディングとリスニングの双方を受験すること。いずれかを欠席した場合は英語欠席者とし、合否判定の対象外とする。	200点
	数学	「数学I、数学A」、「数学II、数学B、数学C」から1科目 経過措置科目：「旧数学I・旧数学A」、「旧数学II・旧数学B」から1科目 大学入学共通テストの配点100点を200点に換算する。2科目を受験した場合には、高得点の科目の成績を合否判定に利用する。 ●下記の科目のうちから1科目を選択。2科目以上を受験した場合には、高得点の科目の成績を合否判定に利用する。 「地理歴史」「公民」および「理科」は、第1解答科目・第2解答科目にかかわらず合否判定対象とする。	100点 100点
	地理歴史	「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」 経過措置科目：「旧世界史B」、「旧日本史B」、「旧地理B」	100点
	公民	「公共、倫理」、「公共、政治・経済」 経過措置科目：「旧現代社会」、「旧倫理」、「旧政治・経済」、「旧倫理、旧政治・経済」	
	情報	「情報I」 経過措置科目：「旧情報」	
	合計(6科目)		
後期	国語	「国語」	200点
試験科目・配点	外国語	「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「韓国語」から1科目 「英語」は、リーディング100点を120点、リスニング100点を80点にそれぞれ換算し、計200点とする。「英語」を選択する受験者は、リーディングとリスニングの双方を受験すること。いずれかを欠席した場合は英語欠席者とし、合否判定の対象外とする。	200点
	数学	「数学I、数学A」、「数学II、数学B、数学C」から1科目 経過措置科目：「旧数学I・旧数学A」、「旧数学II・旧数学B」から1科目 大学入学共通テストの配点100点を200点に換算する。2科目を受験した場合には、高得点の科目の成績を合否判定に利用する。 ●下記の科目のうちから1科目を選択。2科目以上を受験した場合には、高得点の科目の成績を合否判定に利用する。 「地理歴史」「公民」および「理科」は、第1解答科目・第2解答科目にかかわらず合否判定対象とする。	200点
	地理歴史	「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」 経過措置科目：「旧世界史B」、「旧日本史B」、「旧地理B」 大学入学共通テストの配点100点を200点に換算する。	200点
	公民	「公共、倫理」、「公共、政治・経済」 経過措置科目：「旧現代社会」、「旧倫理」、「旧政治・経済」、「旧倫理、旧政治・経済」	
	理科	「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」、「物理」、「化学」、「生物」、「地学」 大学入学共通テストの配点100点を200点に換算する。	
	情報	「情報I」 経過措置科目：「旧情報」 大学入学共通テストの配点100点を200点に換算する。	
合計(4科目)			800点

公募制特別入学試験(大学入学共通テスト利用特別入学試験) ※Web出願ではありません

本学部の教育目標は、商学の専門知識と深い人間理解力とを備えた人材の育成です。その目標を達成するために、本学部の専門教育の基礎的分野を学び、入学後に必要となる国語力、英語力、社会科学、人文科学、自然科学の基礎的な事柄を身につけた者を対象とします。

【基本条件】 高等学校(特別支援学校の高等部を含む)もしくは中等教育学校を2024年4月1日から2025年3月31日までに卒業または卒業見込みの者

	商業	留学	TOEFL利用	国際バカロレア認定
出願資格・条件	(1) (2)の条件をすべて満たすこと (1)高等学校の商業に関する学科または総合学科で、教科「商業」及びそれに類する教科・科目を20単位以上修得見込みの者 (2)日本商工会議所主催の簿記検定試験(統一試験方式、ネット試験方式、団体試験方式)2級以上に合格した者	高等学校在学中に留学経験があり、30単位以上の単位を高等学校において認定されている者。なお、ドイツ語、フランス語での受験を希望する者は、以下の条件を満たしていること。 ・ドイツ語学文学振興会ドイツ語技能検定試験「2級」以上の合格 ・フランス語教育振興協会実用フランス語技能検定試験「2級」以上の合格	出願締切日から遡って2年以内に受験したTOEFL iBT®テストスコアの証明書を出願期間までに提出できる者。	学校教育法第1条に規定されている学校で「国際バカロレア(IB)認定校を2024年4月1日から2025年3月31日までに卒業または卒業見込みの者で、ディプロマ・プログラム(DP)のカリキュラムを学習している者。
募集人数	15名	8名	12名	5名
出願期間	2024年12月12日(木)～12月18日(水)			
合格発表日	2025年2月13日(木)			

【商業部門】

試験科目	配点詳細	配点
『国語』	近代以降の文章のみ。大学入学共通テストの配点110点を100点に換算する。	100点
『英語』	リスニングを含む大学入学共通テストの配点200点を100点に換算する。	100点
『歴史総合、世界史探究』、『歴史総合、日本史探究』、『地理総合、地理探究』、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、『数学I、数学A』、『数学II、数学B、数学C』、『情報I』	左記科目から1科目を選択。 2科目以上を受験した場合には、高得点の科目の成績を合否判定に利用する。	100点
合計(3科目)		300点

【留学・TOEFL利用・国際バカロレア認定部門】

試験科目	配点詳細	配点
『国語』	近代以降の文章のみ、大学入学共通テストの配点110点を100点に換算する。	100点
『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』*	左記科目から1科目選択。「英語」は、リスニングを含む大学入学共通テストの配点200点とする。 ※留学部門のみ、外国語を「ドイツ語」、「フランス語」で出願可能です。	200点
『歴史総合、世界史探究』、『歴史総合、日本史探究』、『地理総合、地理探究』、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、『数学I、数学A』、『数学II、数学B、数学C』、『情報I』	左記科目から1科目を選択。 2科目以上を受験した場合には、高得点の科目の成績を合否判定に利用する。	100点
合計(3科目)		400点

公募制特別入学試験(全国商業高等学校長協会会員校対象特別入学試験) ※Web出願ではありません

本学部の教育目標は、商学の専門知識と深い人間理解力とを備えた人材の育成です。本入試制度の目的は、その目標を達成するために、本学部の専門教育に関連する基礎学力に秀でた生徒を受け入れることです。そのため、全国商業高等学校長協会の会員校に所属し、本学部において勉強することを強く希望する者を対象とします。

募集人数	25名	選考方法	口頭試問 2024年11月30日(土)
出願期間	2024年10月14日(月)～10月21日(月)	合格発表日	2024年12月5日(木)
出願資格・条件	以下の(1)～(7)の条件をすべて満たすこと (1) 全国商業高等学校長協会会員の高等学校において、2025年3月に卒業見込みの者 (2) 全国商業高等学校協会主催の検定試験1級を6科目以上合格した者 (3) 日本英語検定協会主催の実用英語技能検定(CSE2.0)準2級以上に合格した者 (4) 日本商工会議所主催の簿記検定試験2級以上に合格した者 (5) 高等学校第3学年1学期(または前期)までの全体の学習成績の状況が4.2以上の者 (6) 高等学校第3学年1学期(または前期)までの欠席日数が10日以内の者 (7) 高等学校時に教科「商業」及びそれに類する教科・科目を学び、大学入学後、さらにその知識を発展させるとともに、深い人間理解力も向上させたいという強い意欲を持つ者		

明治大学商学部がわかる 9つのポイント

多様な学生

さまざまな入試制度



全国から集う
豊かな『個』

学科・科目

自由度の高いコース制



1学科7コース

ゼミナール

多角的に、深く、考える



2つのゼミに
所属できる!

国際・留学

海外でビジネスを学ぶ



学部独自の
5協定校

「商学部の現場」

学生記者が編集・発信



受験生のための
WEBサイト

企業・地域と連携

ビジネス現場を体感



ハイレベルな
実践科目

キャリア教育・進路

高い就職実績



あらゆる業界
で活躍

資格取得

資格取得の土台を形成



難関資格にも強い

ファッション

海外有名ブランドでの研修も



ビジネスとしての
ファッション

詳しくはこちらを**CHECK!**

受験生のための学部選択ガイド Step into Meiji University

<https://www.meiji.ac.jp/stepinto/shogaku>



LINE @meijixam

一人ひとりにぴったりの入試やイベントの情報を
お知らせ。LINEだけのイベントもやってるよ!!



登録してくれた?
?

● 明治大学入試総合サイト

<https://www.meiji.ac.jp/exam/>

